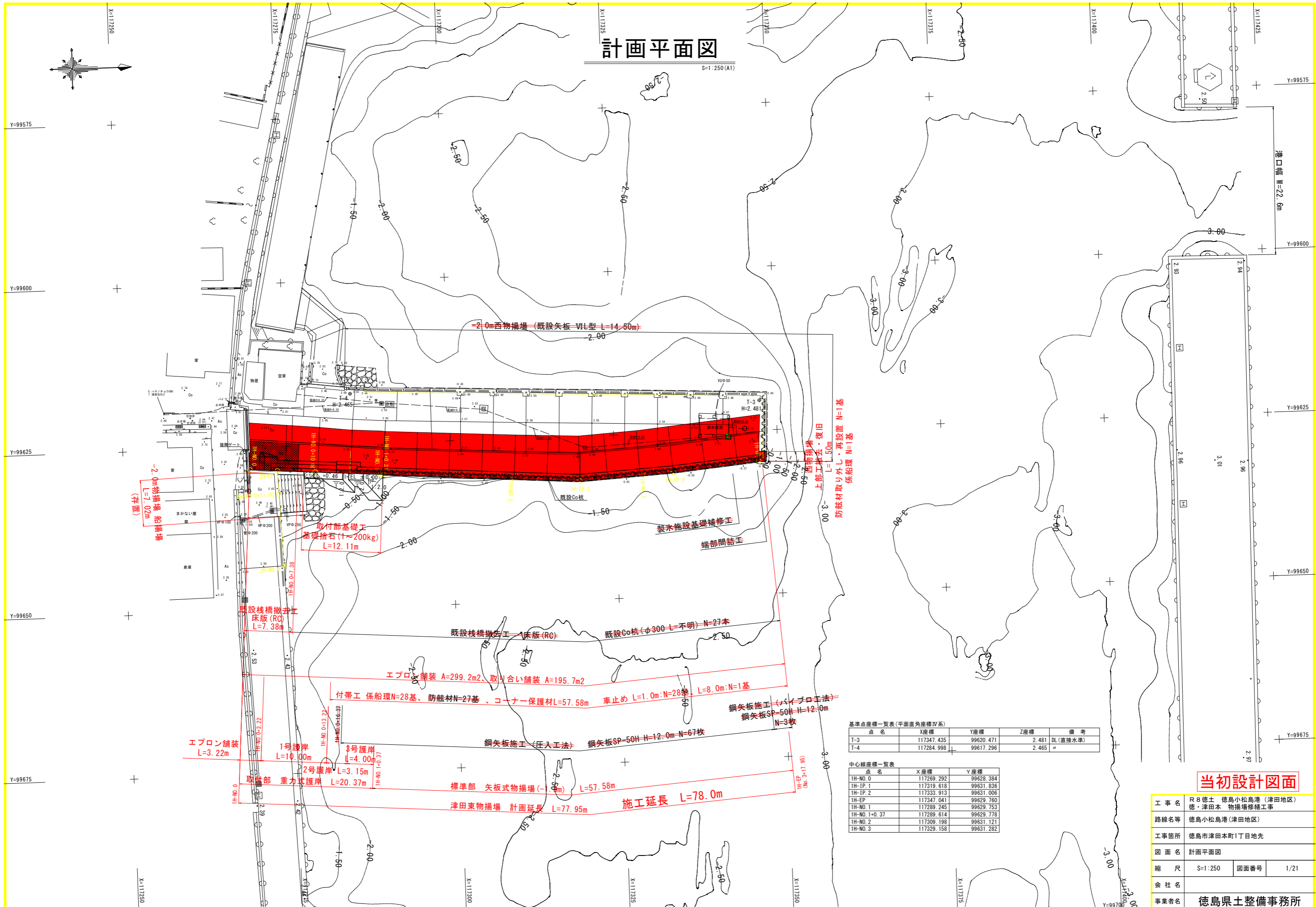


計画平面図

S=1:250 (A1)



基準点座標一覧表(平面直角座標IV系)

点名	X座標	Y座標	Z座標	備考
T-3	117347.435	99620.471	2.481	DL(直接水準)
T-4	117284.998	99617.296	2.465	"

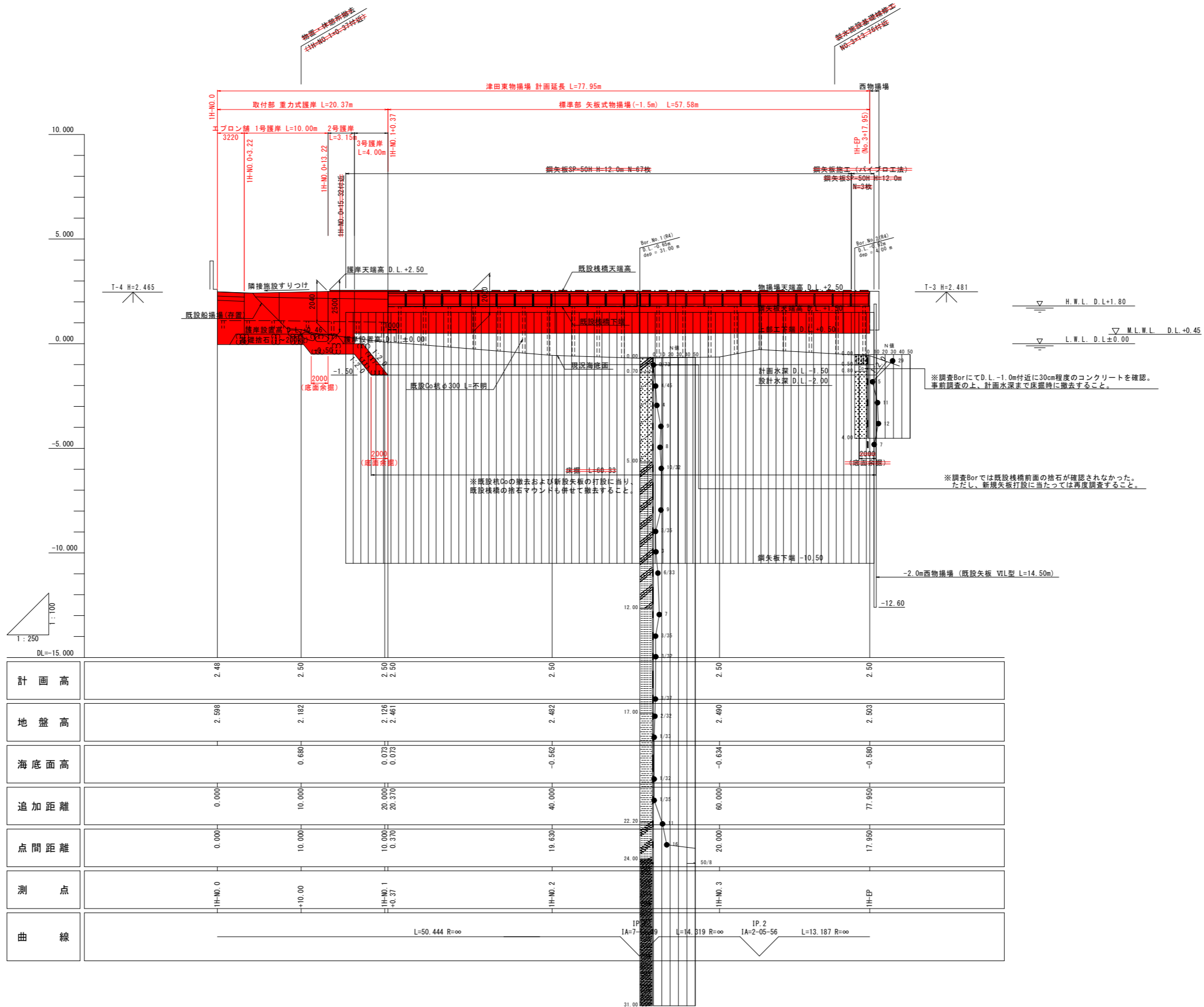
中心線座標一覧表

点名	X座標	Y座標
IH-NO.0	117269.292	99628.384
IH-IP.1	117319.618	99631.836
IH-IP.2	117333.913	99631.006
IH-EP	117347.041	99629.760
IH-NO.1	117289.245	99629.753
IH-NO.1+0.37	117289.614	99629.778
IH-NO.2	117309.198	99631.121
IH-NO.3	117329.158	99631.282

当初設計図面

工事名	R8徳土 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	計画平面図		
縮尺	S=1:250	図面番号	1/21
会社名	徳島県土整備事務所		
事業者名	徳島県土整備事務所		

縦断図 V=1:100 H=1:250



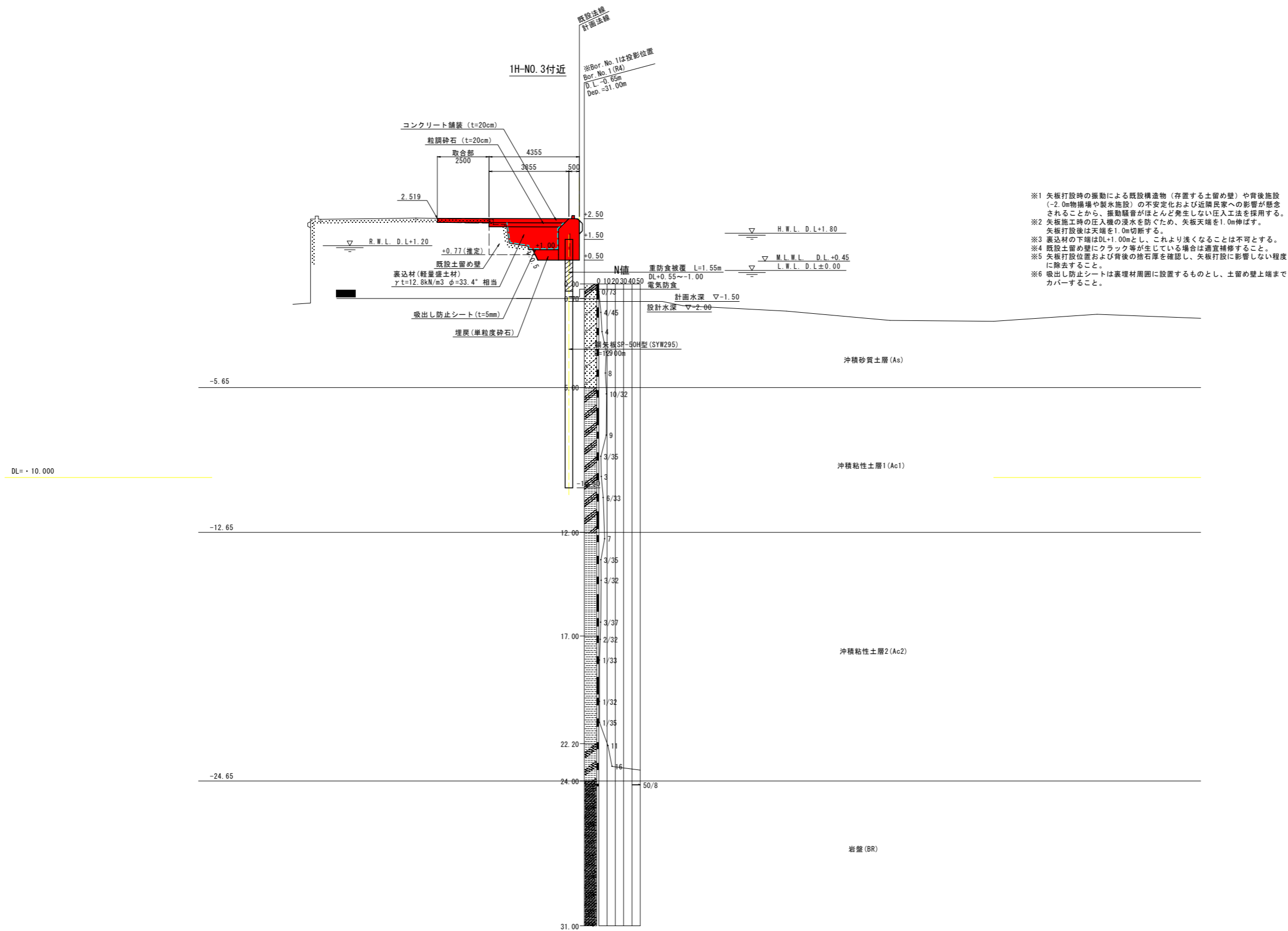
計画高	2.48	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
地盤高	2.598	2.182	2.126	2.461	2.482	17.00	2.490
海底面高		0.686	0.073	0.073	-0.562	-0.634	-0.586
追加距離	0.000	10.000	20.000	20.370	40.000	60.000	77.950
点間距離	0.000	10.000	10.000	0.370	19.630	20.000	17.950
測点	IH-NO.0	+10.00	IH-NO.1	+0.37	IH-NO.2	IH-NO.3	IH-EP
曲線			L=50.444 R=∞		IP.1 IA=7-19	IP.2 IA=2-05-56	L=13.187 R=∞

当初設計図面

工事名	R 8 徳土 徳島小松島港 (津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港 (津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	縦断図		
縮尺	V=1:100 H=1:250	図面番号	2/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

標準断面図(1)

S=1:100



- ※1 矢板打設時の振動による既設構造物 (存置する土留め壁) や背後施設 (-2.0m物揚場や製水施設) の不安定化および近隣民家への影響が懸念されることから、振動騒音がほとんど発生しない圧入工法を採用する。
- ※2 矢板施工時の圧入機の浸水を防ぐため、矢板天端を1.0m伸ばす。矢板打設後は天端を1.0m切断する。
- ※3 裏込材の下端はDL+1.00mとし、これより浅くなることは不可とする。
- ※4 既設土留め壁にクラック等が生じている場合は適宜補修すること。
- ※5 矢板打設位置および背後の積石厚を確認し、矢板打設に影響しない程度に除去すること。
- ※6 吸出し防止シートは裏込材周囲に設置するものとし、土留め壁上端までカバーすること。

当初設計図面

工事名	R 8 徳土 徳島小松島港 (津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港 (津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	標準断面図(1)		
縮尺	S=1:100	図面番号	3/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

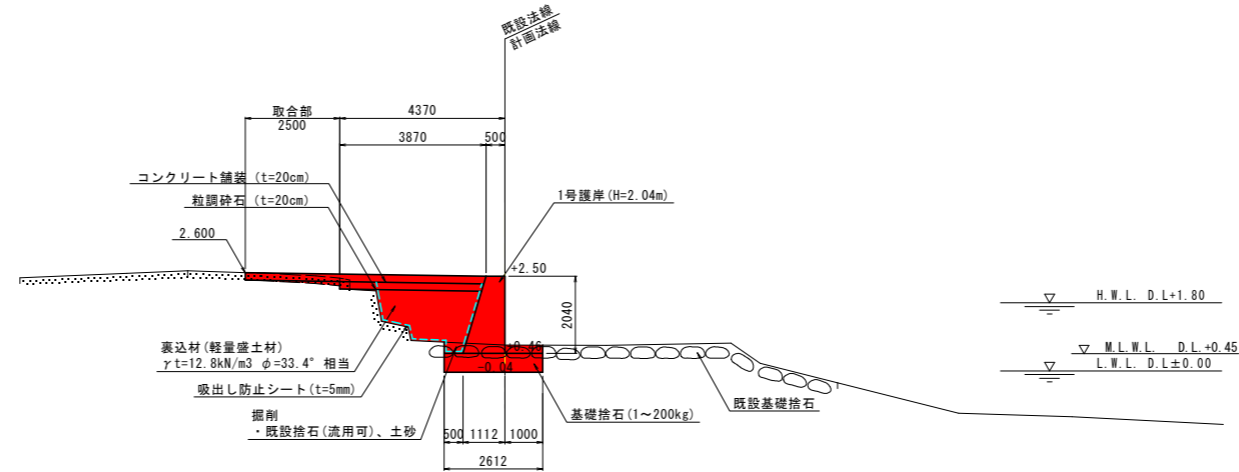
標準断面図(2)

S=1:100

取付部(護岸) ※ 取付護岸のため、係留施設は設けない。

1号護岸

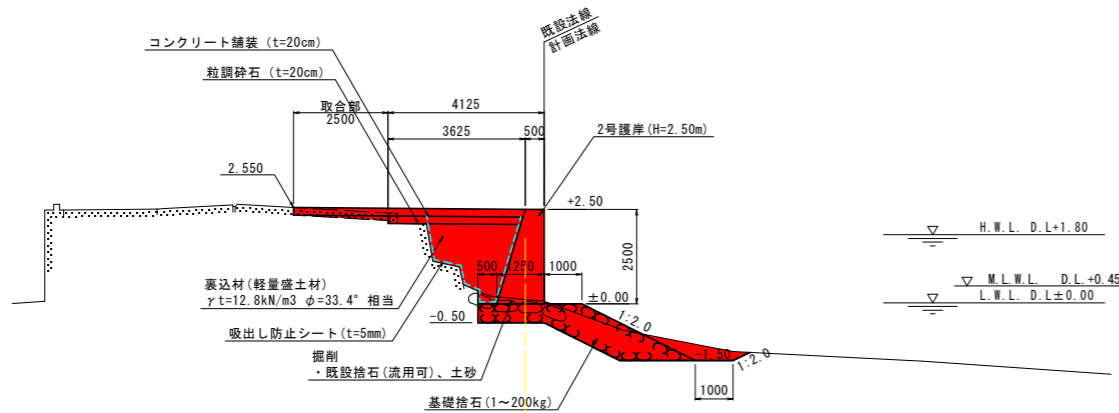
1H-NO. 0+10.00付近



DL=-5.000

2号護岸

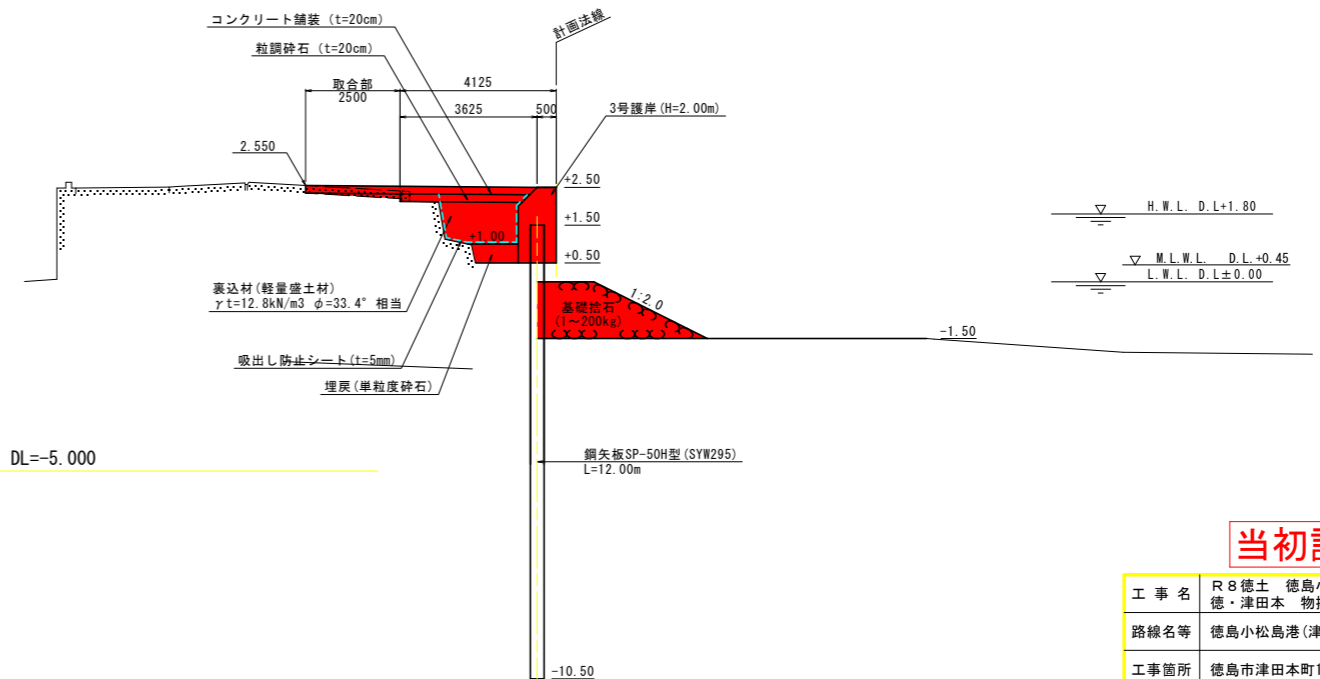
1H-NO. 0+15.00付近



DL=-5.000

3号護岸

1H-NO. 1付近



DL=-5.000

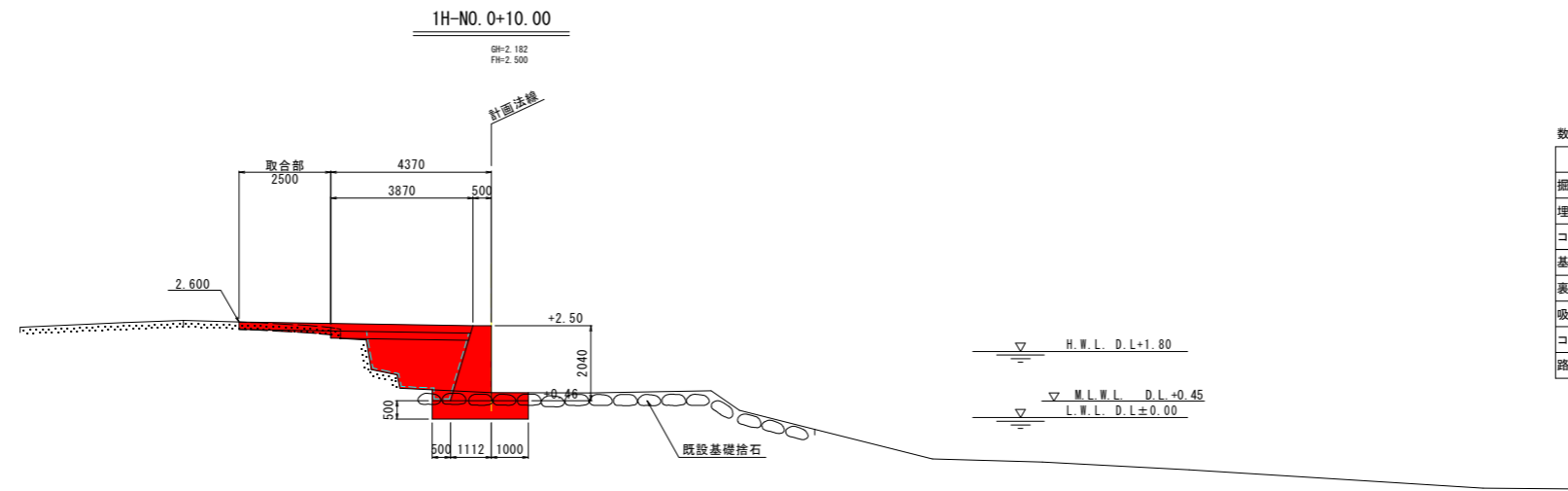
注記

- 1号護岸敷高は船揚場設置高(推定)とする。
- 既設構造物取壊後に設置高を確認すること。
- 既設基礎捨石厚が50cm以上確保できる場合は、目潰し等を行い流用してもよい。
- 既設土留め壁にクラック等が生じている場合は適宜補修すること。

当初設計図面

工事名	R8徳土 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	標準断面図(2)		
縮尺	S=1:100	図面番号	4/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

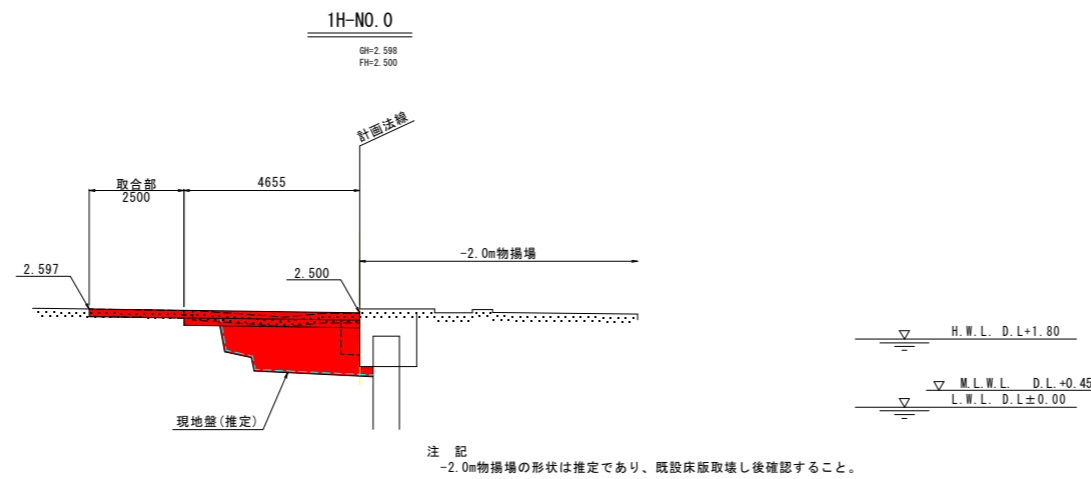
横断図(1) S=1:100



数量表 NO. 0+10.000

名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m3	1.94
埋戻し 単粒度砕石	m3	---
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設棧橋床版	m3	---
基礎捨石 1~200kg	m3	1.31
裏込材 軽量盛土材	m3	3.21
吸出し防止シート t=5mm	m2	5.74
コンクリート取壊し 無筋構造物 コンクリート舗装版他	m3	0.57
路盤材(取合部) 粒調砕石	m3	0.10

DL=-10.000



数量表 1H-NO. 0

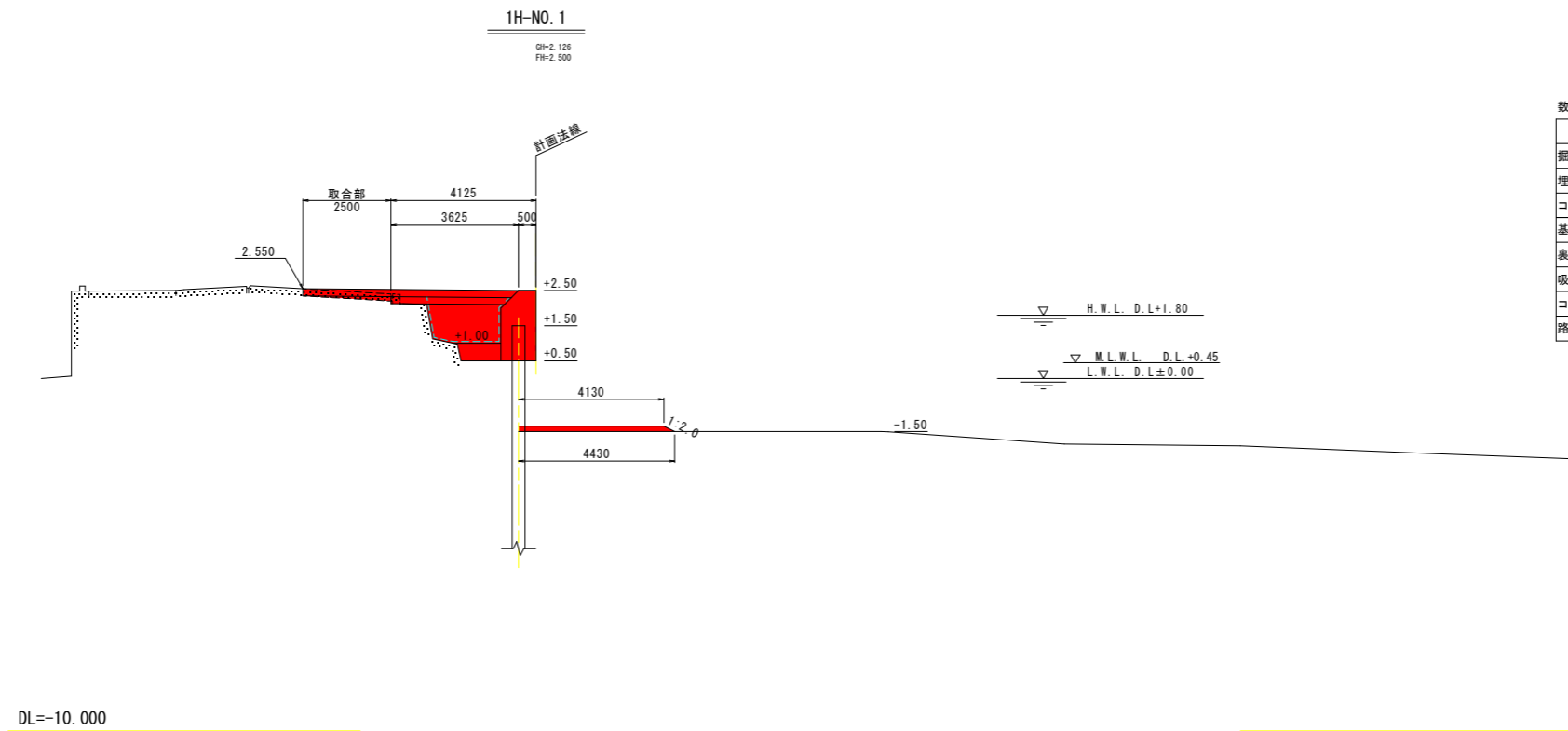
名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m3	---
埋戻し 単粒度砕石	m3	---
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設棧橋床版	m3	1.53
基礎捨石 1~200kg	m3	---
裏込材 軽量盛土材	m3	4.20
吸出し防止シート t=5mm	m2	5.14
コンクリート取壊し 無筋構造物 コンクリート舗装版他	m3	0.55
路盤材(取合部) 粒調砕石	m3	0.00

DL=-10.000

当初設計図面

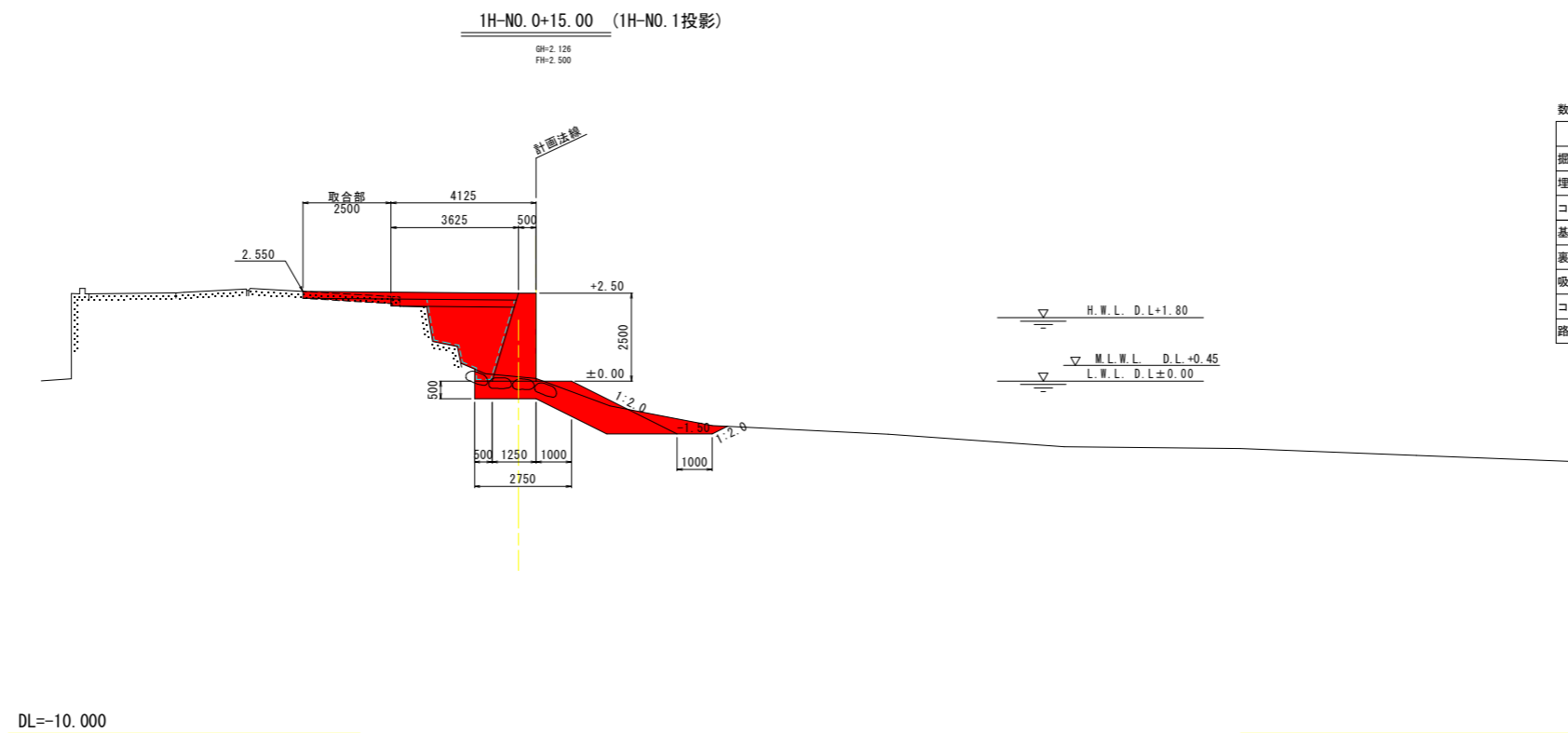
工事名	R8徳島 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	横断図(1)		
縮尺	S=1:100	図面番号	5/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

横断図(2) S=1:100



数量表 1H-NO. 1

名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m3	---
埋戻し 単粒度砕石	m3	0.60
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設棧橋床版	m3	---
基礎捨石 1~200kg	m3	0.64
裏込材 軽量盛土材	m3	2.22
吸出し防止シート t=5mm	m2	4.60
コンクリート取壊し 無筋構造物 コンクリート舗装版他	m3	0.56
路盤材(取合部) 粒調砕石	m3	0.16



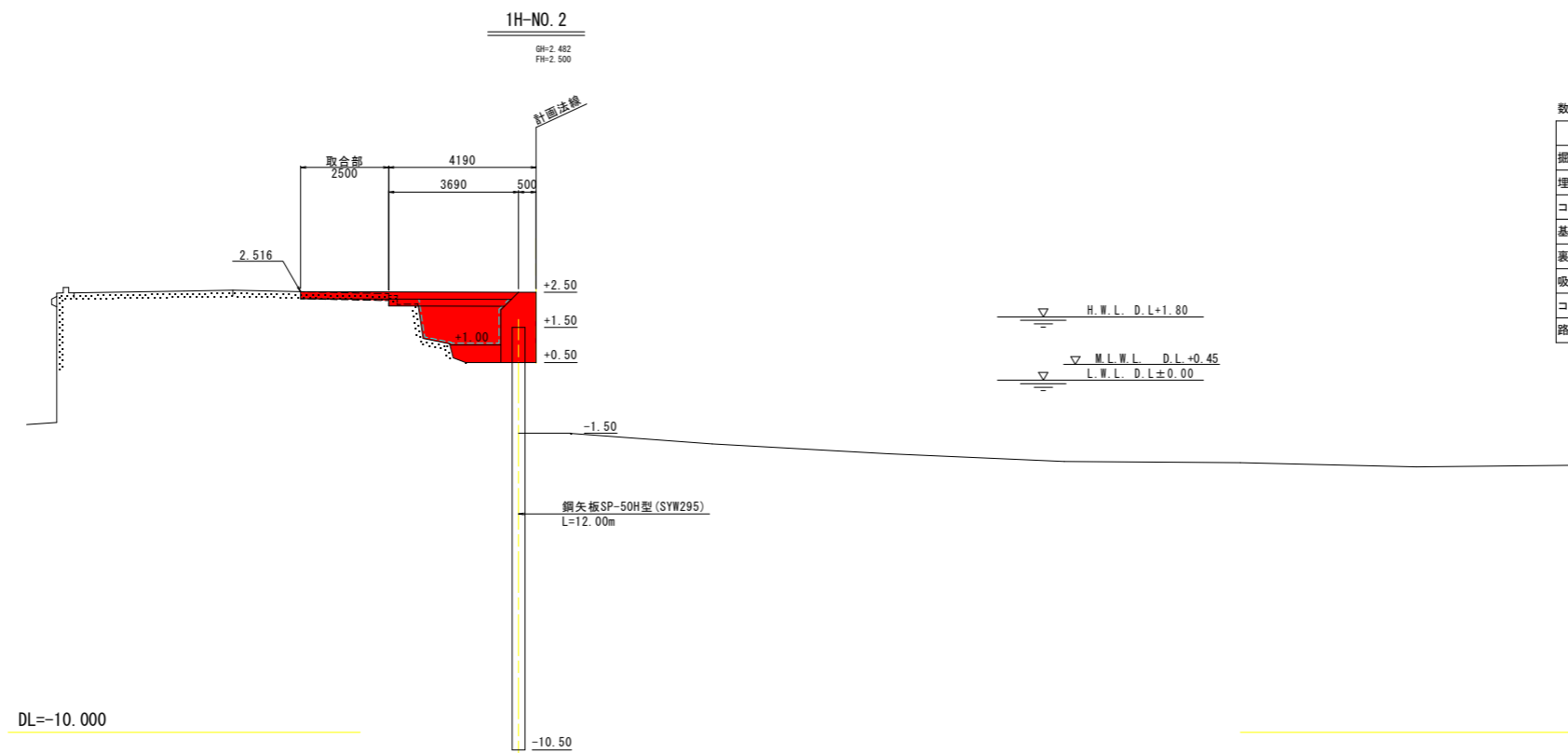
数量表 1H-NO. 0+15.00 (1H-NO. 1投影)

名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m3	4.21
埋戻し 単粒度砕石	m3	---
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設棧橋床版	m3	---
基礎捨石 1~200kg	m3	3.63
裏込材 軽量盛土材	m3	3.35
吸出し防止シート t=5mm	m2	6.08
コンクリート取壊し 無筋構造物 コンクリート舗装版他	m3	0.56
路盤材(取合部) 粒調砕石	m3	0.16

当初設計図面

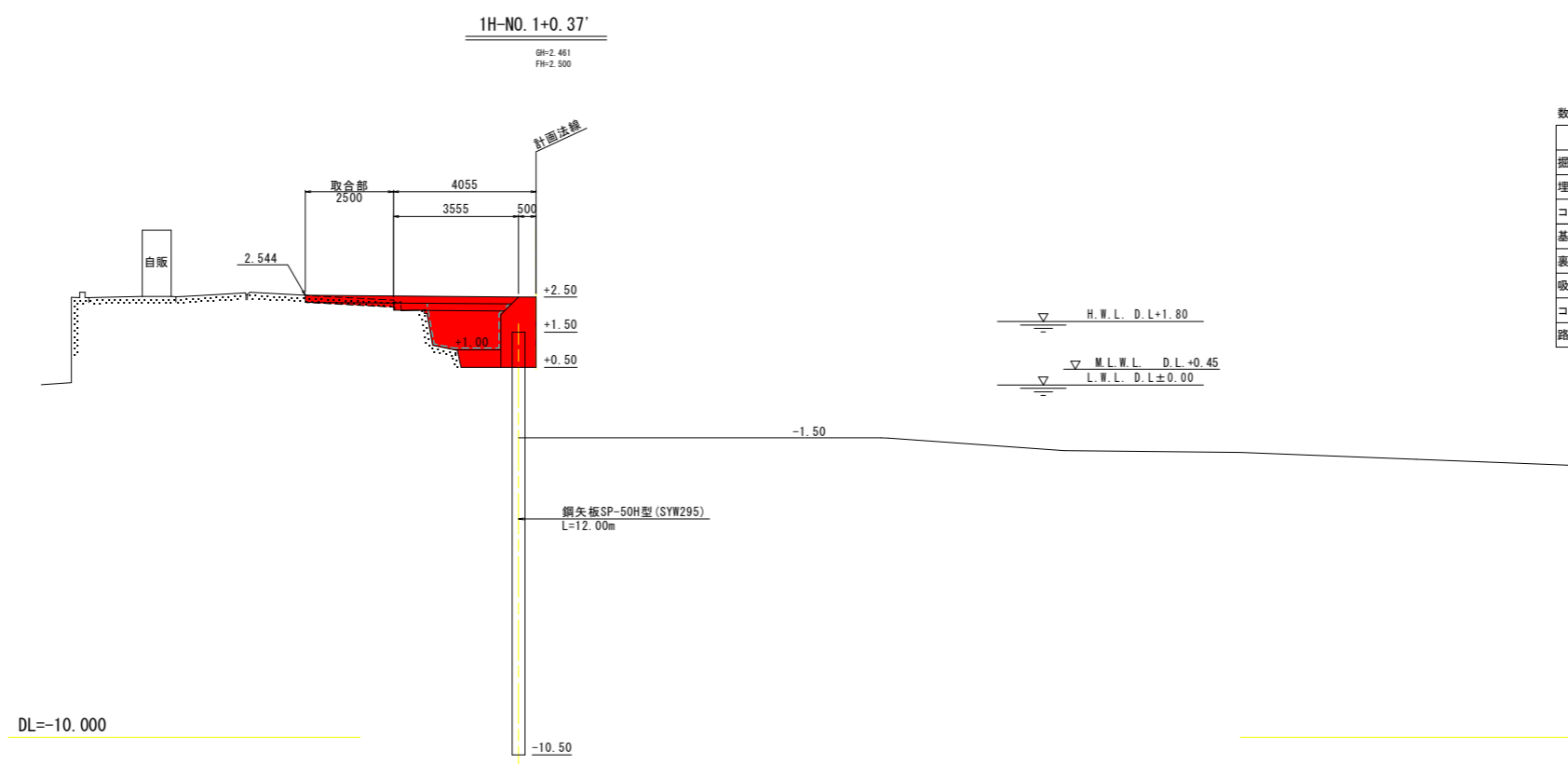
工事名	R8徳島 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	横断図(2)		
縮尺	S=1:100	図面番号	6/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

横断図(3) S=1:100



数量表 1H-NO. 2

名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m3	---
埋戻し 単粒度砕石	m3	0.67
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設棧橋床版	m3	---
基礎捨石 1~200kg	m3	---
裏込材 軽量盛土材	m3	2.43
吸出し防止シート t=5mm	m2	4.81
コンクリート取壊し 無筋構造物 コンクリート舗装版他	m3	0.60
路盤材(取合部) 粒調砕石	m3	0.06



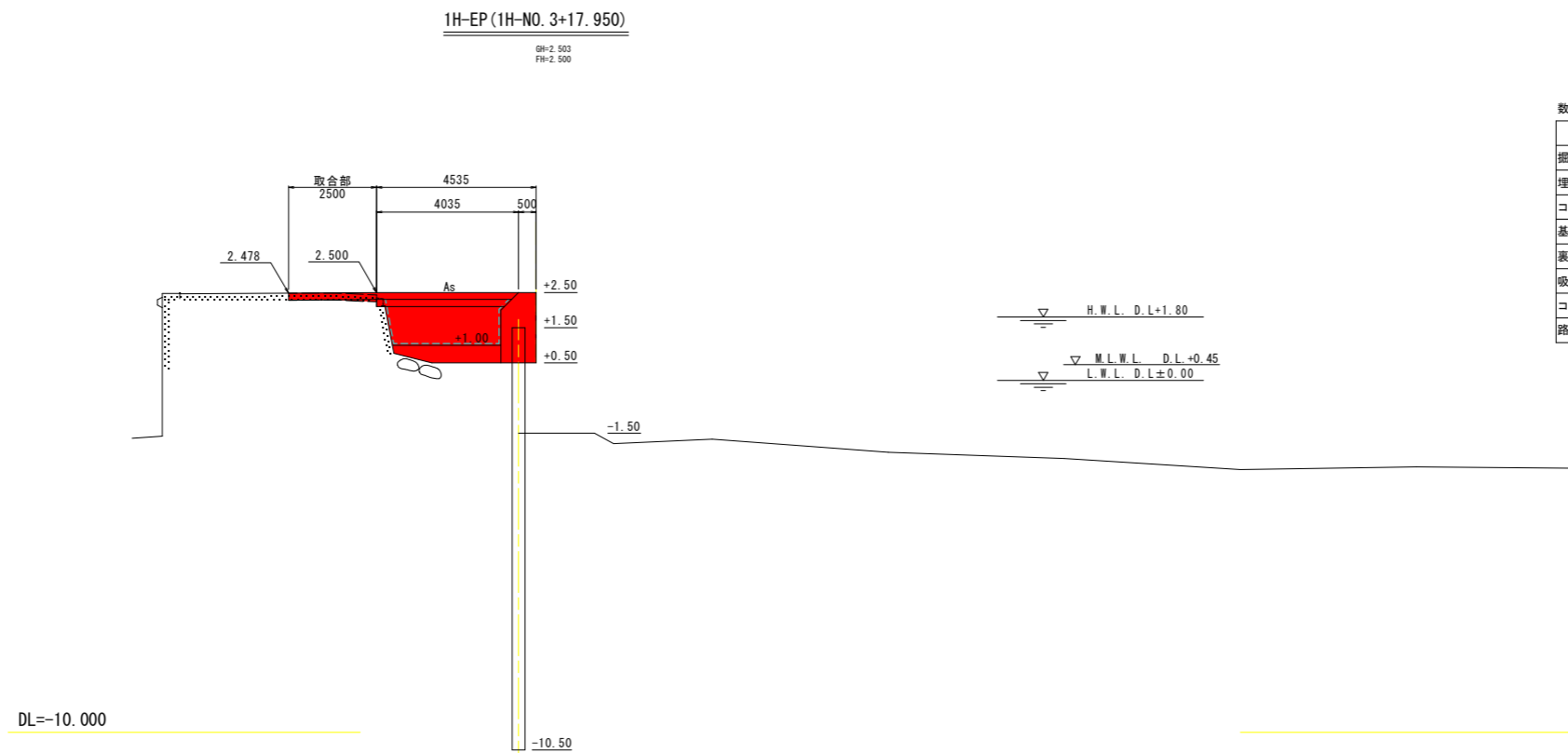
数量表 1H-NO. 1+0.37'

名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m3	---
埋戻し 単粒度砕石	m3	0.60
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設棧橋床版	m3	---
基礎捨石 1~200kg	m3	---
裏込材 軽量盛土材	m3	2.22
吸出し防止シート t=5mm	m2	4.67
コンクリート取壊し 無筋構造物 コンクリート舗装版他	m3	0.55
路盤材(取合部) 粒調砕石	m3	0.15

当初設計図面

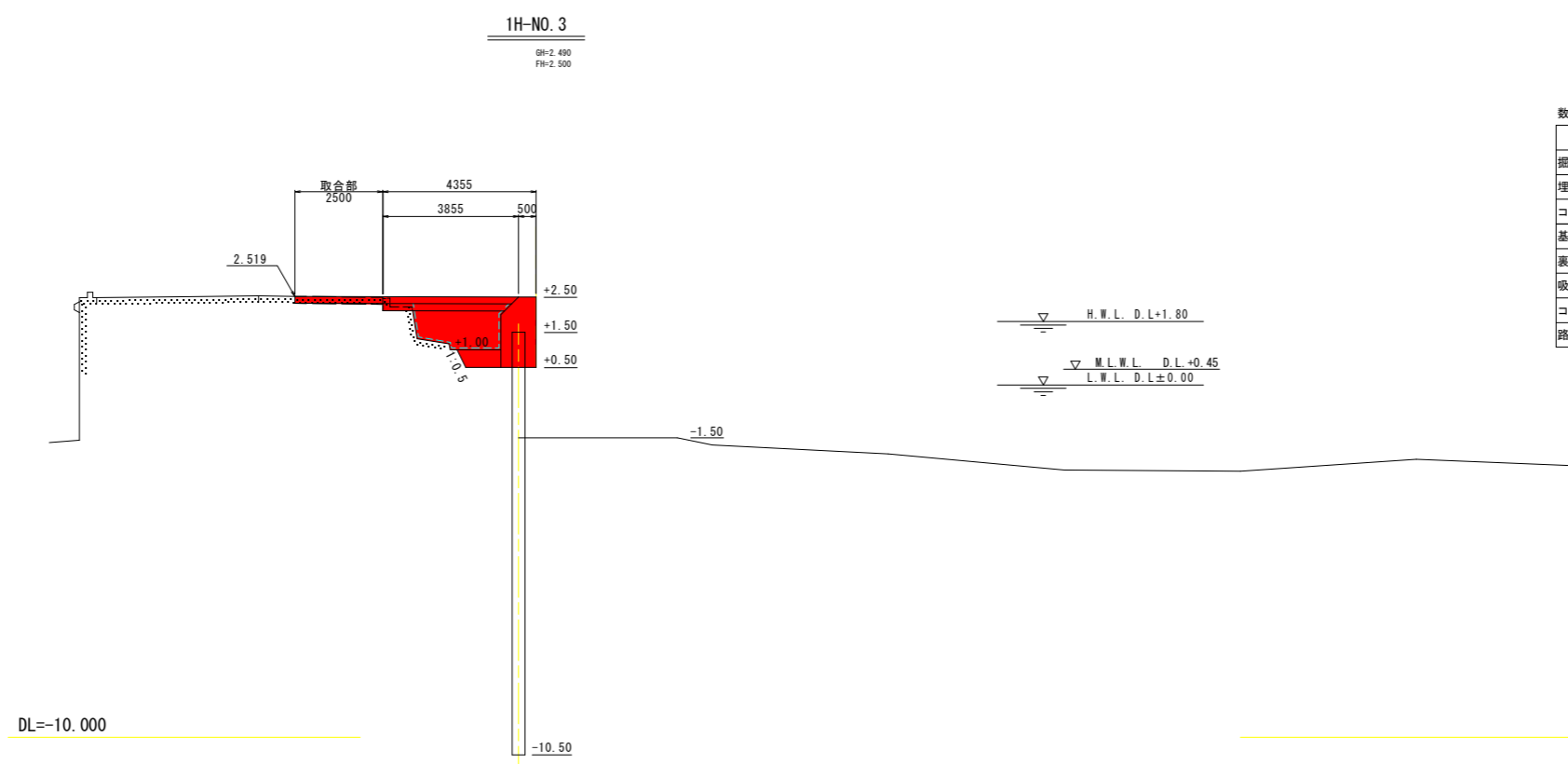
工事名	R8徳土 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	横断図(3)		
縮尺	S=1:100	図面番号	7/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

横断図(4) S=1:100



数量表 1H-EP (1H-NO. 3+17.950)

名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m3	---
埋戻し 単粒度砕石	m3	1.38
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設棧橋床版	m3	---
基礎捨石 1~200kg	m3	---
裏込材 軽量盛土材	m3	3.51
吸出し防止シート t=5mm	m2	5.84
コンクリート取壊し 無筋構造物 コンクリート舗装版他	m3	0.54
路盤材 (取合部) 粒調砕石	m3	0.05



数量表 1H-NO. 3

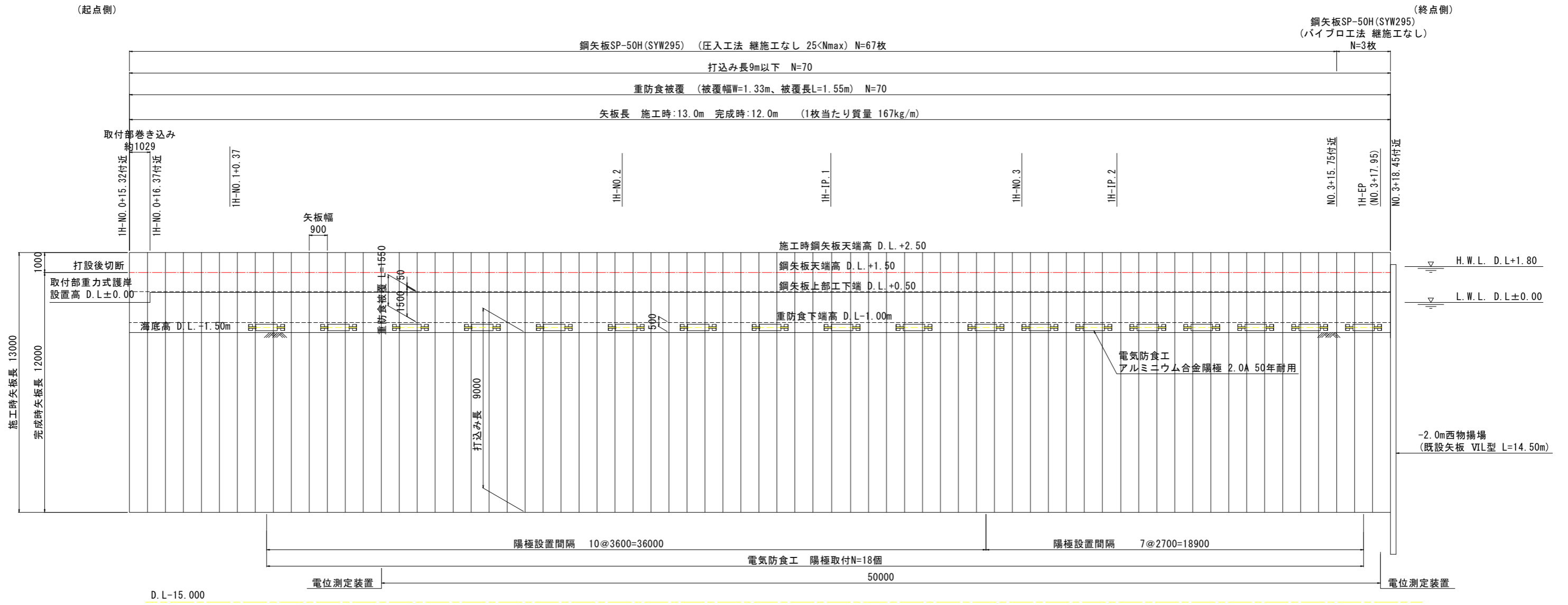
名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m3	---
埋戻し 単粒度砕石	m3	0.56
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設棧橋床版	m3	---
基礎捨石 1~200kg	m3	---
裏込材 軽量盛土材	m3	2.47
吸出し防止シート t=5mm	m2	4.96
コンクリート取壊し 無筋構造物 コンクリート舗装版他	m3	0.53
路盤材 (取合部) 粒調砕石	m3	0.03

当初設計図面

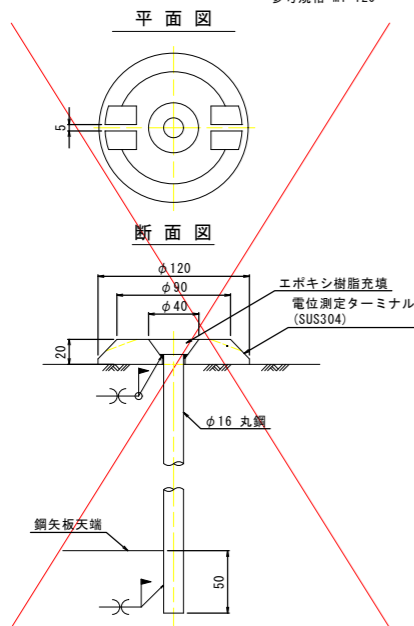
工事名	R 8 徳土 徳島小松島港 (津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港 (津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	横断図(4)		
縮尺	S=1:100	図面番号	8/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

鋼矢板展開図

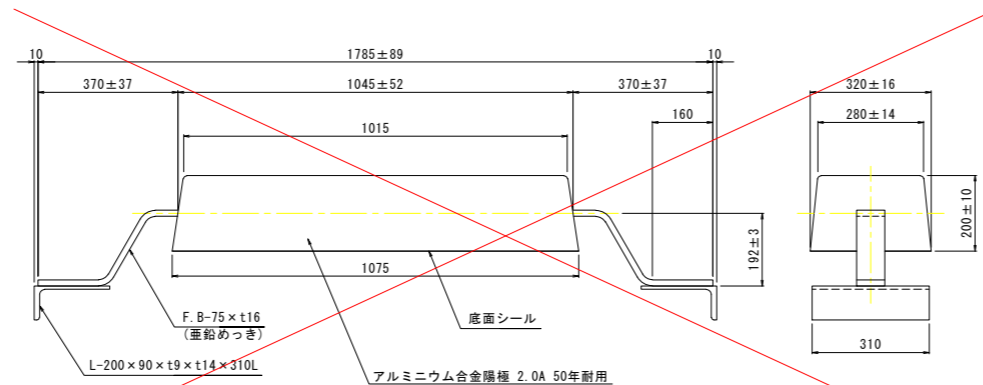
S=1:100



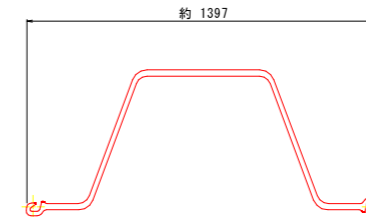
電位測定装置参考図 S=1:3
参考規格 MT-120



陽極取付要領図 S=1:10
横付け設置



鋼矢板切断長算定図 S=1:10



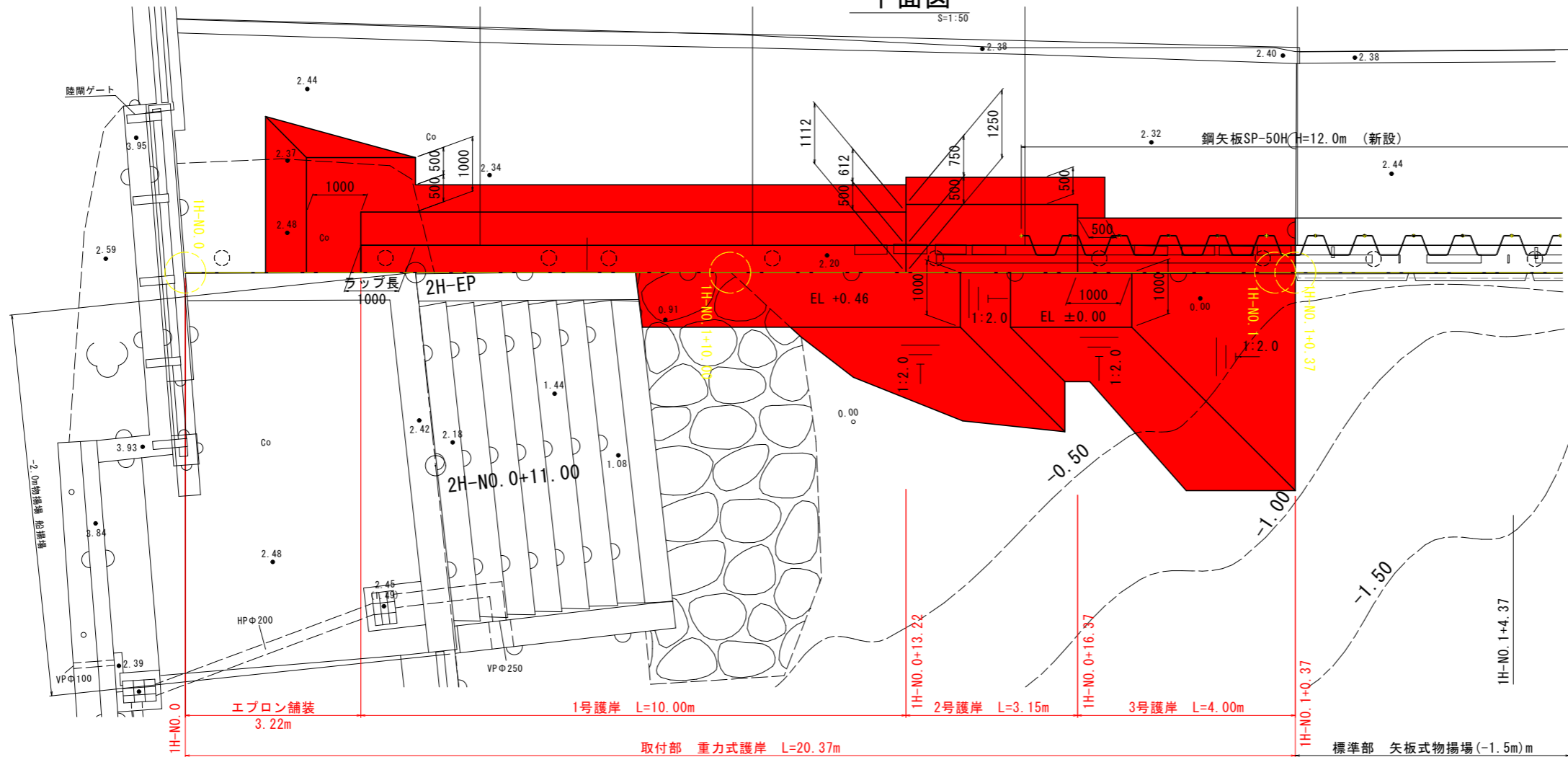
※ 矢板施工時の圧入機の浸水を防ぐため、矢板天端を1.0m伸ばす。矢板打設後は天端を1.0m切断する。
※ 初期圧入のための反力矢板3枚程度はパイプロ工法とする。
※ ハット型鋼矢板の重防食被覆は凸面に施す。
※ 重防食塗装の欠損部(鋼矢板天端断面、施工に伴う剥がれ、溶接部等)は現場にて防錆処理を行うこと。

当初設計図面

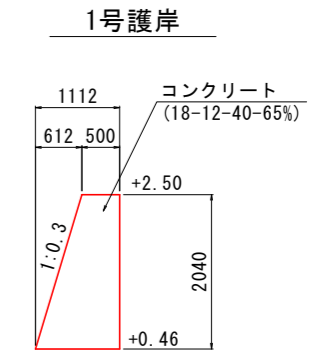
工事名	R8徳土 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	鋼矢板展開図		
縮尺	図示	図面番号	9/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

取付部護岸詳細図

平面図 S=1:50

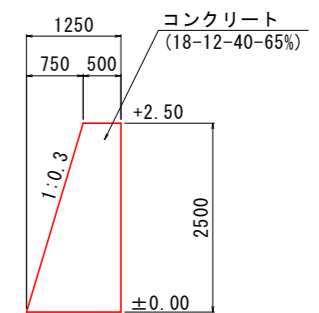


構造図 S=1:50

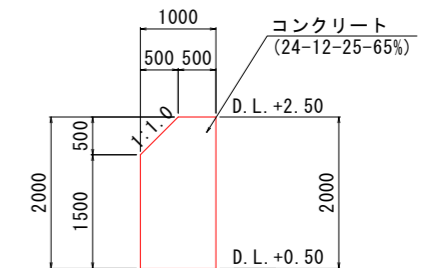


注記
・1号護岸敷高は、船揚場敷高に合わせる。

2号護岸

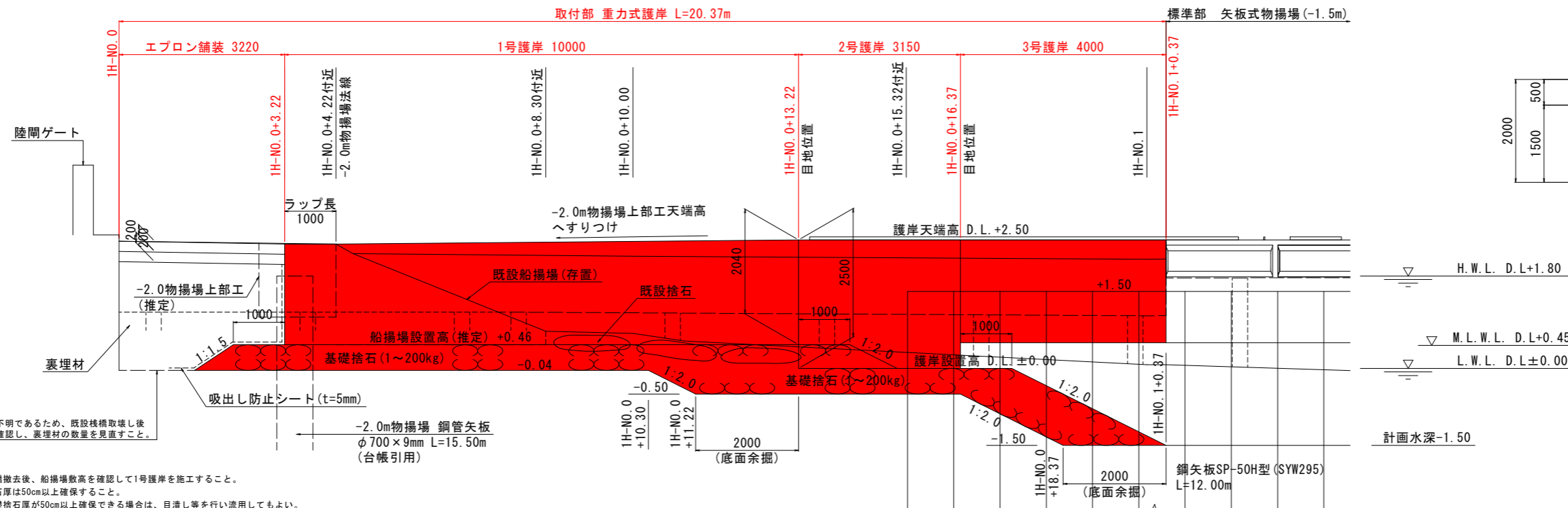


3号護岸



注記
・3号護岸の構造は、物揚場矢板上部工と同様にする。

展開図 S=1:50



注記
・現地盤が不明であるため、既設構造物撤去後現地盤を確認し、裏埋材の数量を見直すこと。

注記
・既設構造物撤去後、船揚場敷高を確認して1号護岸を施工すること。
・基礎捨石厚は50cm以上確保すること。
・既設基礎捨石厚が50cm以上確保できる場合は、目潰し等を行い流用してもよい。

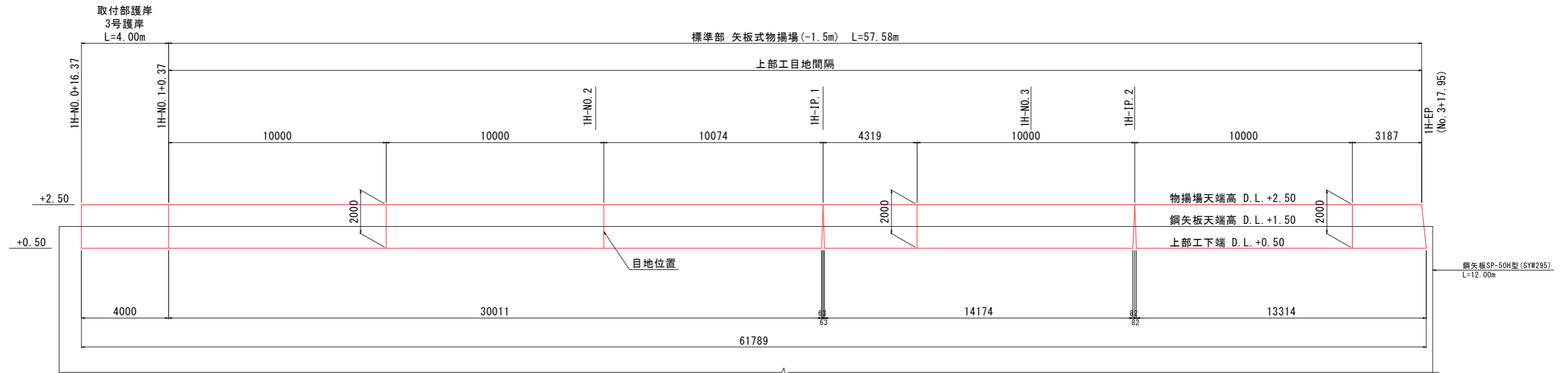
当初設計図面

工事名	R8徳土 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	取付部護岸詳細図		
縮尺	S=1:50	図面番号	10/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

鋼矢板上部工一般図

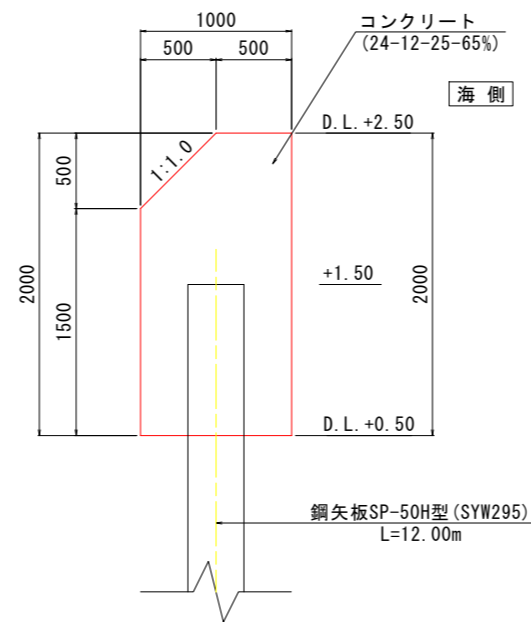
展開図

S=1/100



矢板上部工

S=1/25



注1: 目地材の間隔は10m以下とする。
注2: 目地材料は瀝青質目地材10mmとする。

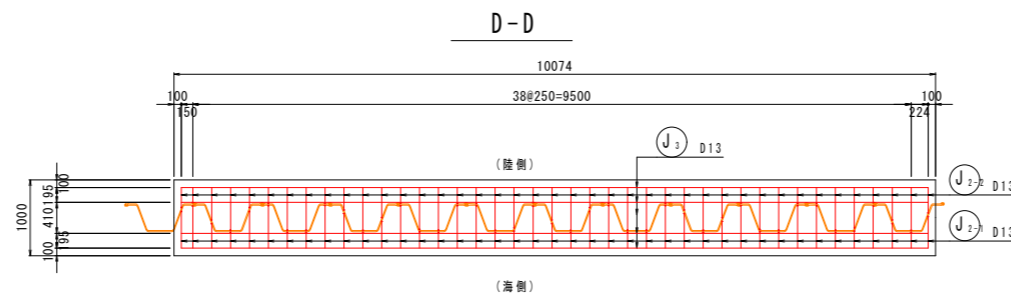
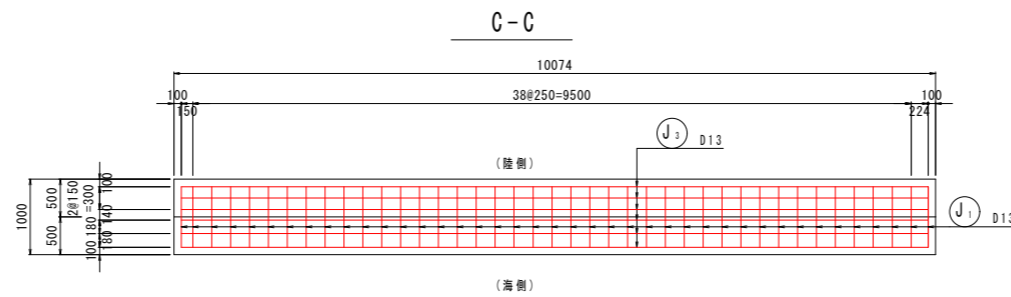
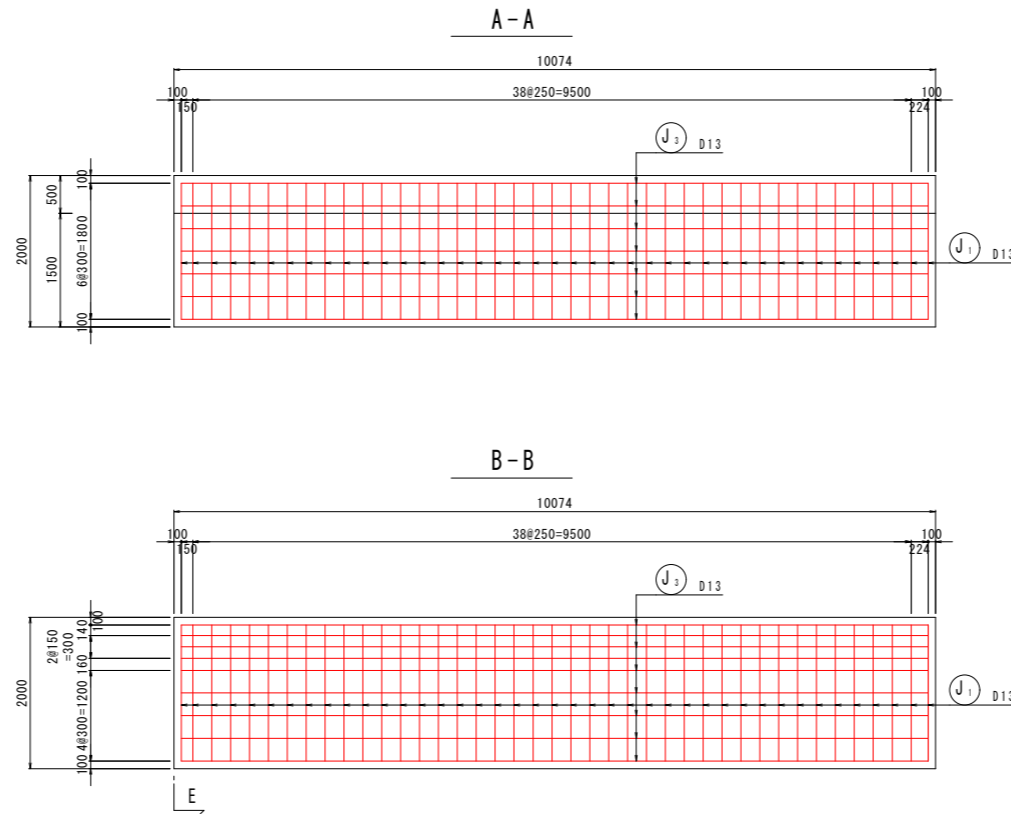
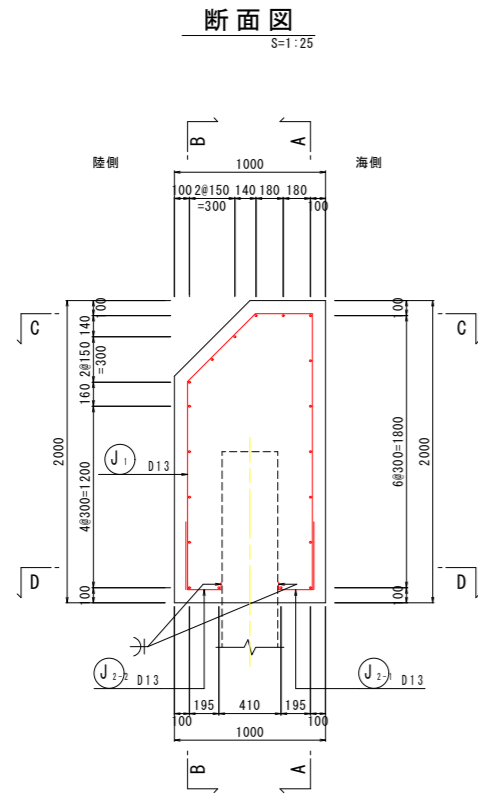
当初設計図面

工事名	R 8 徳土 徳島小松島港 (津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港 (津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	鋼矢板上部工一般図		
縮尺	図示	図面番号	11/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

上部工配筋図(2)

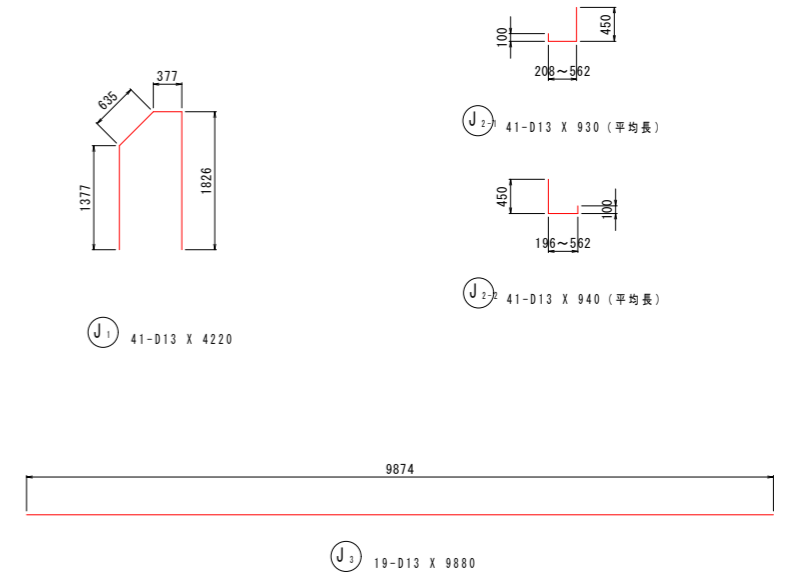
S=1:50

上部工延長L=10.07m



注: (J₂₋₁)(J₂₋₂)の矢板への当てつけ長は、矢板の打設位置に合わせて適宜調整すること。

加工図



鉄筋質量表 (SD345)						
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量
J ₁	D13	4220	41	0.995	4.199	172.15
J ₂₋₁	D13	930	41	0.995	0.925	37.94
J ₂₋₂	D13	940	41	0.995	0.935	38.35
J ₃	D13	9880	19	0.995	9.831	186.78
						435.22
合計 D13				435.22 kg		
総質量				435.22 kg		

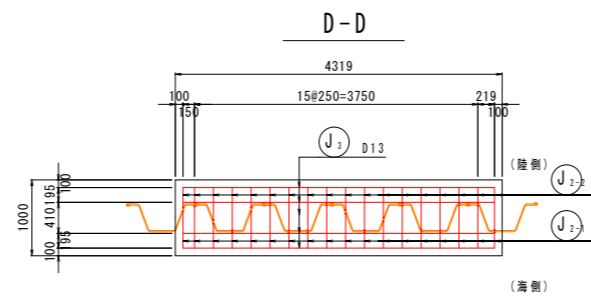
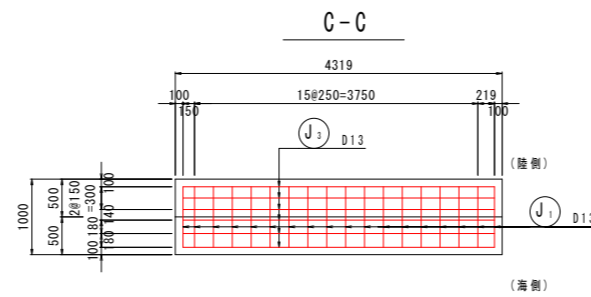
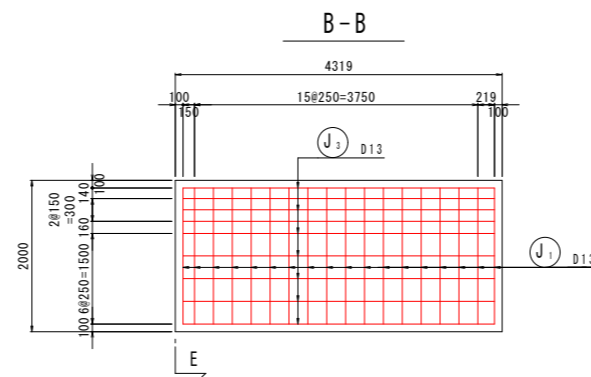
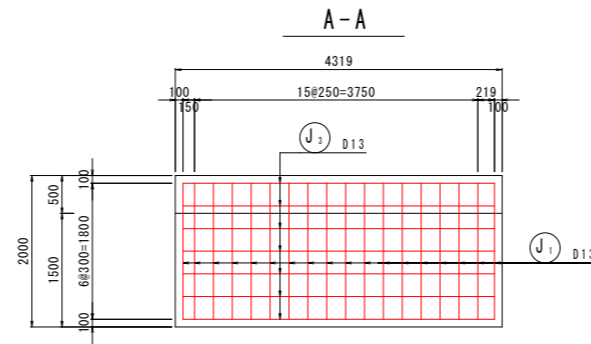
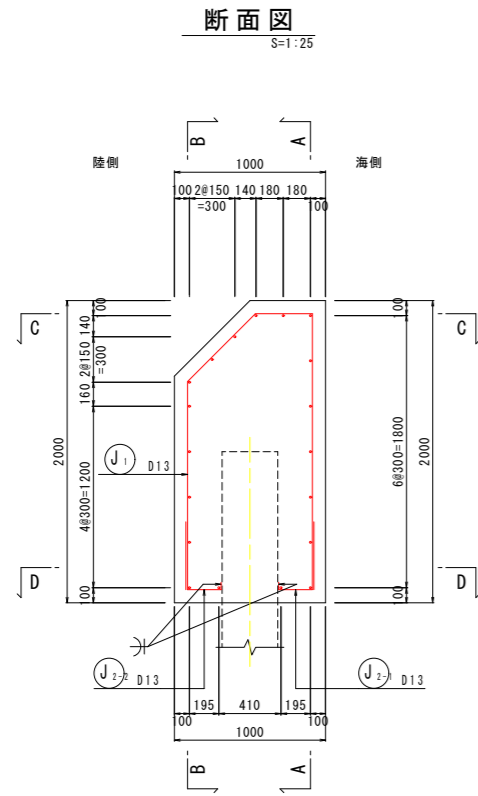
当初設計図面

工事名	R8徳土 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	上部工配筋図(2)		
縮尺	S=1:50	図面番号	13/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

上部工配筋図(3)

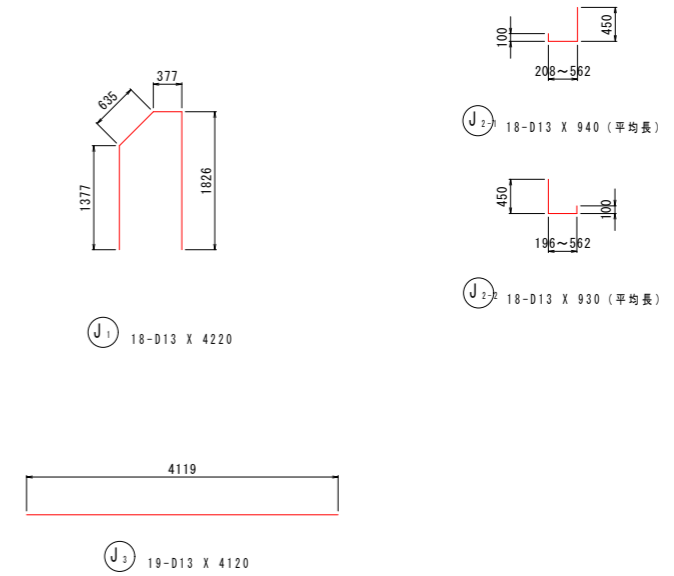
S=1:50

上部工延長L=4.32m



注: (J1)(J2)の矢板への当てつけ長は、矢板の打設位置に合わせて適宜調節すること。

加工図



記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
J ₁	D13	4220	18	0.995	4.199	75.58	┌
J ₂₋₁	D13	940	18	0.995	0.935	16.84	└ (平均長)
J ₂₋₂	D13	930	18	0.995	0.925	16.66	└ (平均長)
J ₃	D13	4120	19	0.995	4.099	77.89	—
						186.96	
合計 D13					186.96 kg		
総質量					186.96 kg		

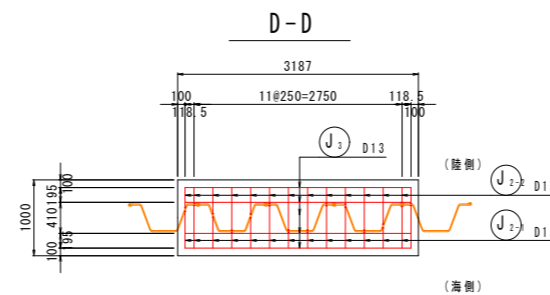
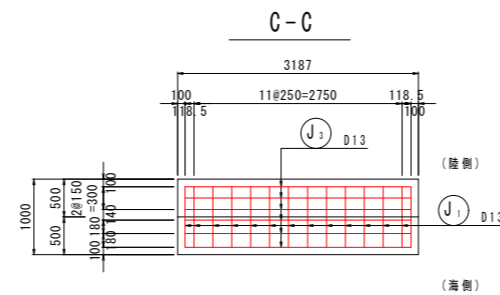
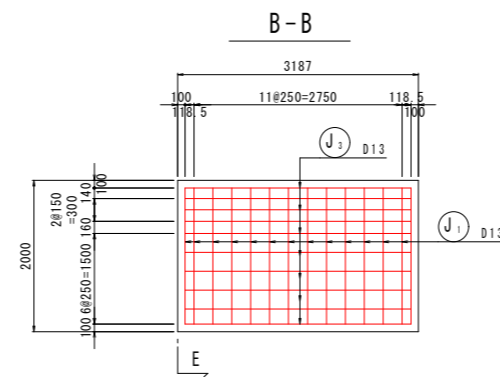
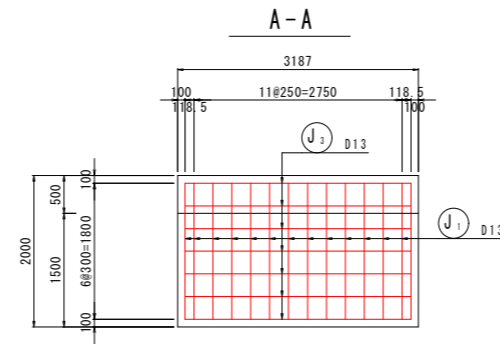
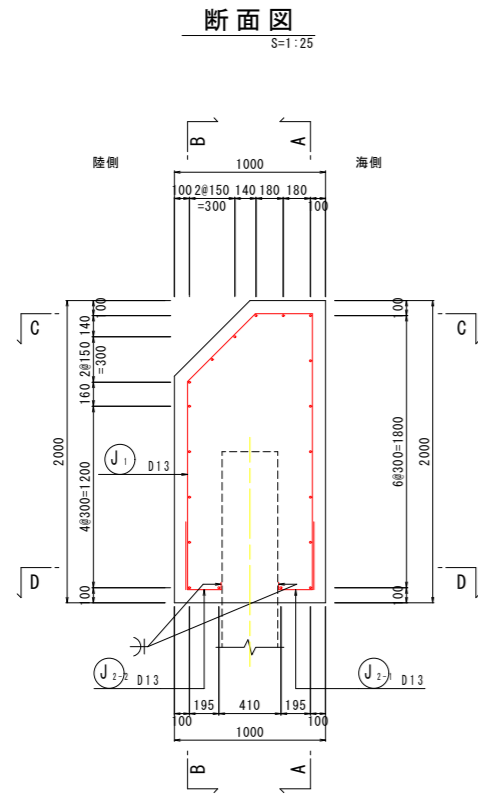
当初設計図面

工事名	R8 徳土 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	上部工配筋図(3)		
縮尺	S=1:50	図面番号	14/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

上部工配筋図(4)

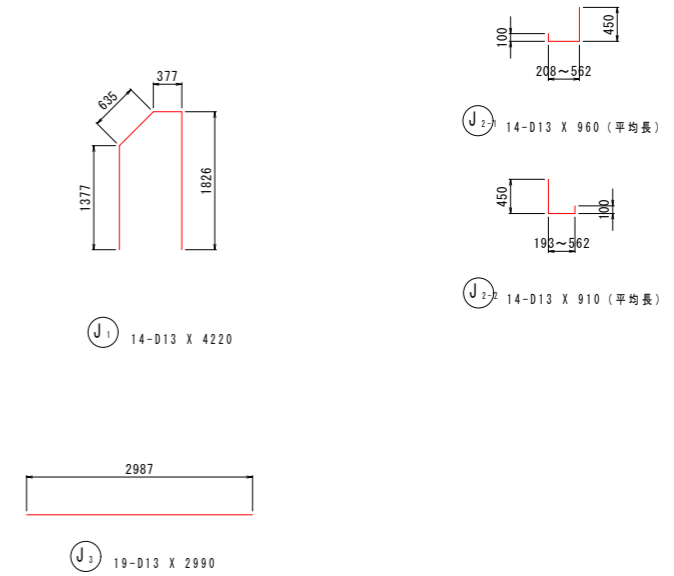
S=1:50

上部工延長L=3.19m



注: J₂、J₃の矢板への当てつけ長は、矢板の打設位置に合わせて適宜調節すること。

加工図



鉄筋質量表

(SD345)

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
J ₁	D13	4220	14	0.995	4.199	58.78	┌
J ₂₋₁	D13	960	14	0.995	0.955	13.37	└ (平均長)
J ₂₋₂	D13	910	14	0.995	0.905	12.68	└ (平均長)
J ₃	D13	2990	19	0.995	2.975	56.53	—
						141.36	
合計 D13					141.36 kg		
総質量					141.36 kg		

当初設計図面

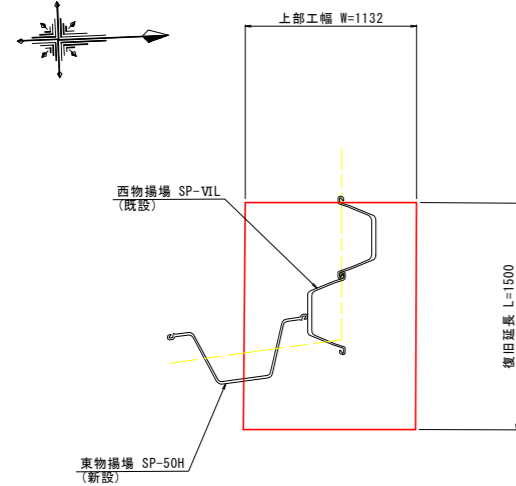
工事名	R8徳土 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	上部工配筋図(4)		
縮尺	S=1:50	図面番号	15/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

上部工配筋図(6)

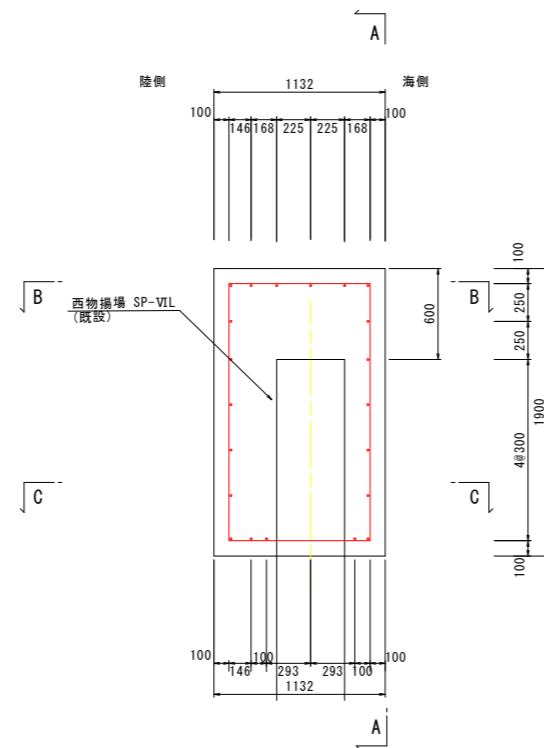
S=1:25

(既設上部工復旧)
上部工延長L=1.50m

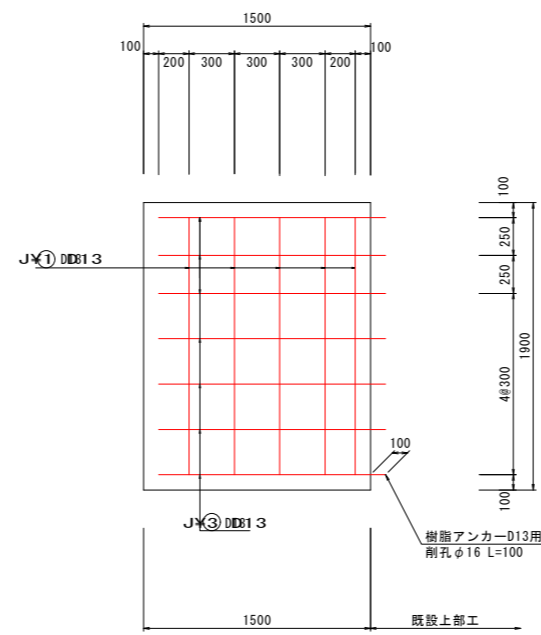
平面形状



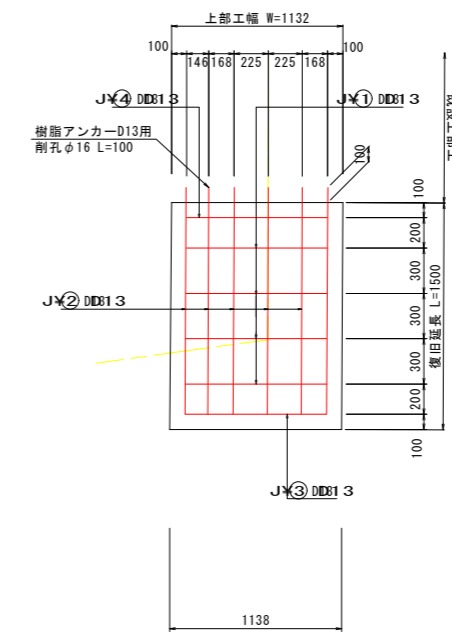
断面図



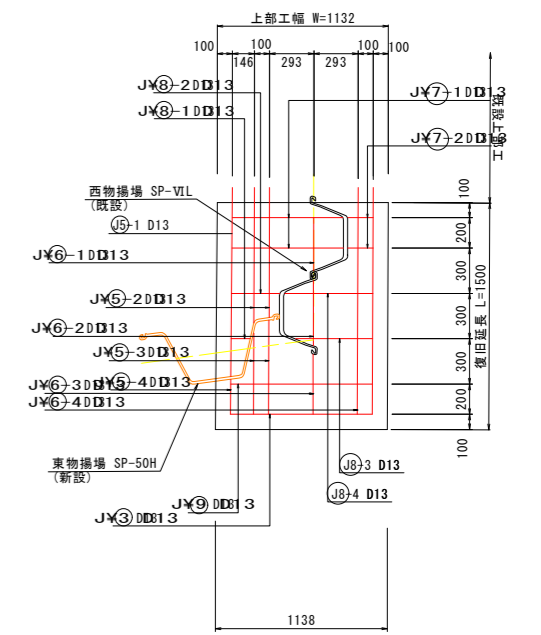
A-A



B-B

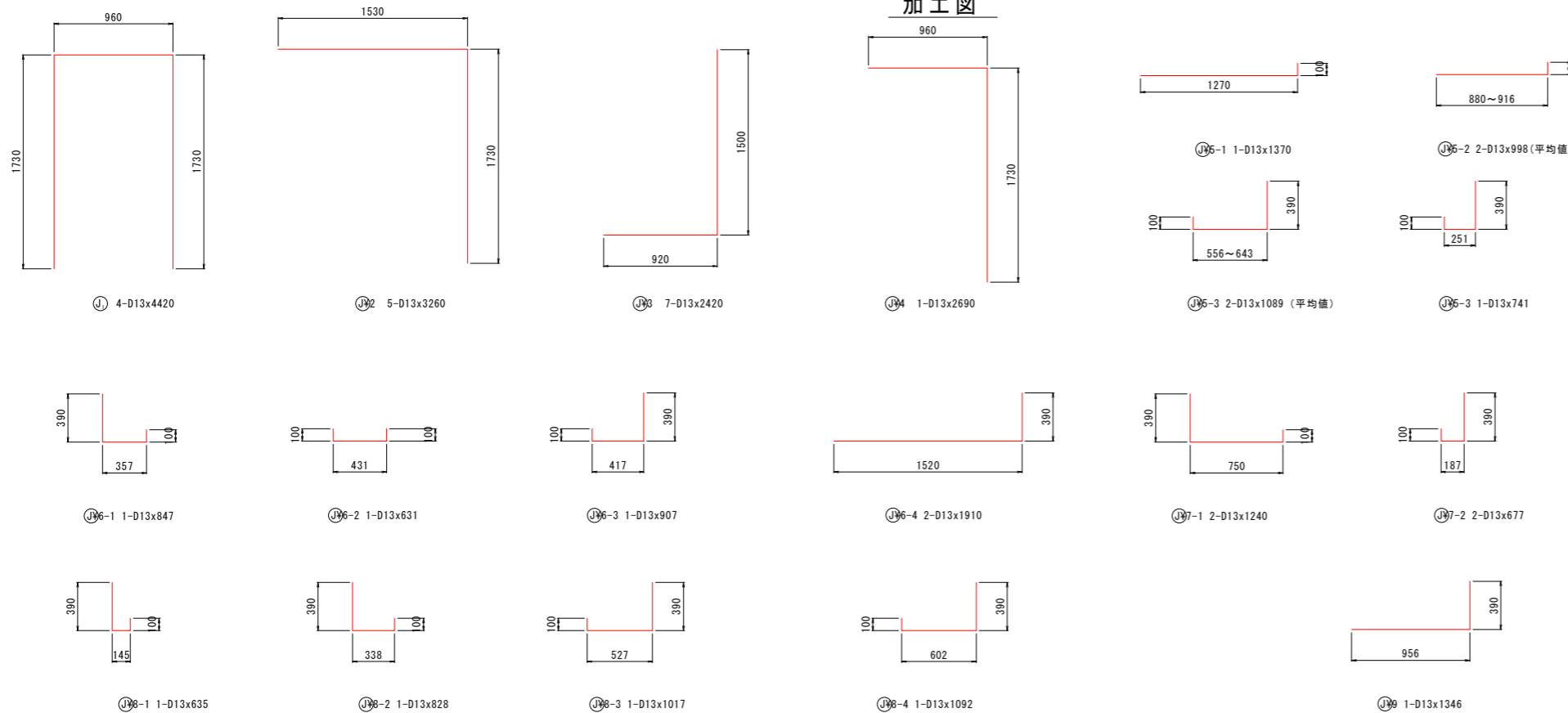


C-C



注記
・既設上部幅は現地状況に合わせる事。
・既設矢板の凹凸の向きは推定であるため、上部工取壊し後に確認し配筋の向きを見直す事。

加工図



鉄筋質量表

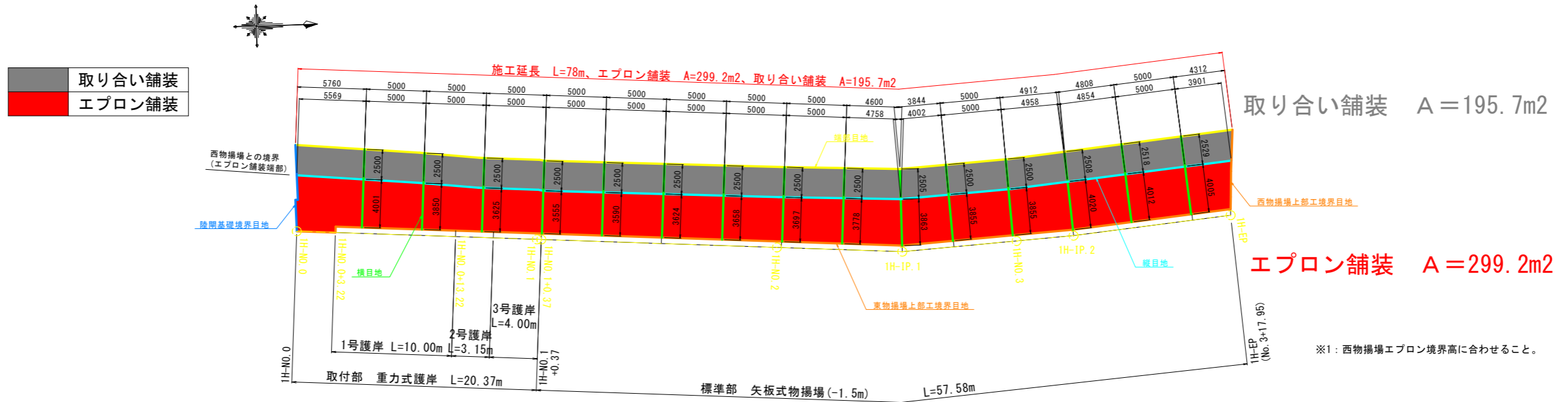
種別	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	質量 (kg)	摘要
J 1	D13	4420	4	0.995	4.397	17.591	□
J 2	D13	3260	5	0.995	3.243	16.215	□
J 3	D13	2420	7	0.995	2.407	16.855	□
J 4	D13	2690	1	0.995	2.676	2.676	□
J 5-1	D13	1370	1	0.995	1.363	1.363	□
J 5-2	D13	998	2	0.995	0.993	1.986	□
J 5-3	D13	1089	2	0.995	1.083	2.167	□
J 5-4	D13	741	1	0.995	0.737	0.737	□
J 6-1	D13	847	1	0.995	0.842	0.842	□
J 6-2	D13	631	1	0.995	0.627	0.627	□
J 6-3	D13	907	2	0.995	0.902	0.902	□
J 6-4	D13	1910	1	0.995	1.900	1.900	□
J 7-1	D13	1240	5	0.995	1.233	2.467	□
J 7-2	D13	677	2	0.995	0.673	1.347	□
J 8-1	D13	635	1	0.995	0.631	0.631	□
J 8-2	D13	828	1	0.995	0.823	0.823	□
J 8-3	D13	1017	1	0.995	1.011	1.011	□
J 8-4	D13	1092	1	0.995	1.086	1.086	□
J 9	D13	1346	1	0.995	1.339	1.339	□
					D13	71.146 kg	
鉄筋の材質: SD345					合計	71.146 kg	

当初設計図面

工事名	R 8 徳島 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	上部工配筋図(6)		
縮尺	S=1:25	図面番号	17/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

エプロン舗装工詳細図

平面図 S=1:200



取り合い舗装 A=195.7m²

エプロン舗装 A=299.2m²

※1: 西物揚場エプロン境界高に合わせること。

取り合い舗装 目地数量表 (1式当り)

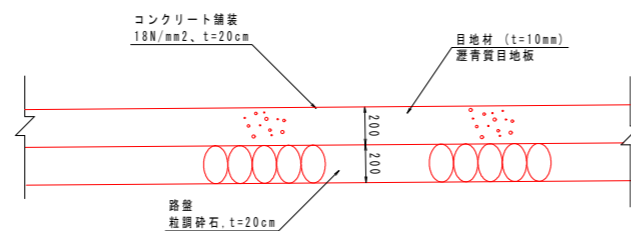
名称	凡例	数量
上部工境界目		2.6m
横目地		37.5m
陸間基礎境界目		2.5m
端部目地		78.3m

エプロン舗装 目地数量表 (1式当り)

名称	凡例	数量
縦目地		78.1m
上部工境界目		82.5m
横目地		57.2m
陸間基礎境界目		4.8m

舗装構成詳細図

s=1/20

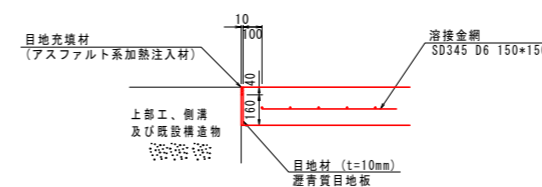


注) 路盤厚の設定は、路床の設計支持力係数 K_{vc} を $75N/cm^2$ としているため、
現場での計測上の値が設定値以下の場合、路盤厚の設定を発注者側との
協議により決定を行うこととする。

注) 横目地間隔は、上記平面配置を基本とし、瀝青質目地材(10mm)を採用する。

上部工等目地詳細図

s=1/20



注) 溶接金網は、両端および目地位置で100mm離隔を確保すること。

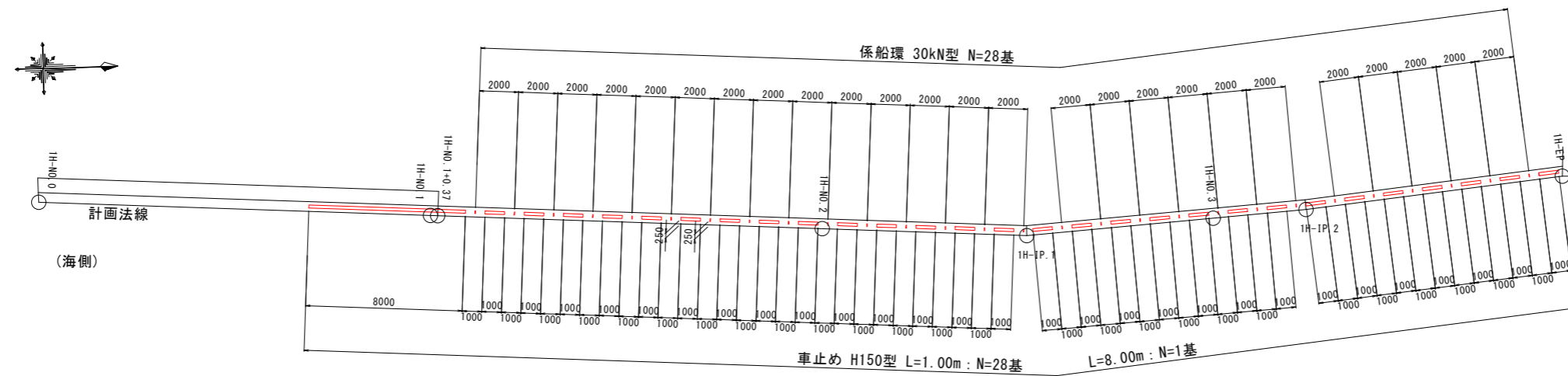
当初設計図面

工事名	R8徳土 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	エプロン舗装工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	18/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

付帯工詳細図(1)

車止め・係船環

平面図 S=1:150

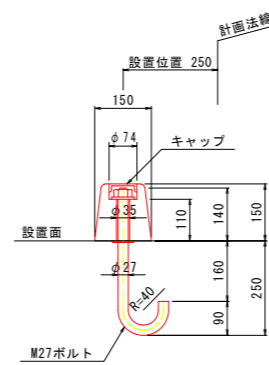


※車止めおよび係船環の配置は利用実態を踏まえたものであり、変更する場合は利用者と協議すること。

車止め構造図(参考図)

S=1:10

H150型

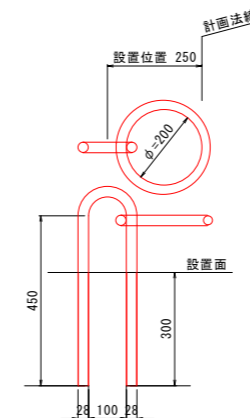


※車止めの形状は参考であり、これを指定するものではない。
※車止めは利用実態を踏まえて高さ150mm程度とすること。

係船環構造図(参考図)

S=1:10

30kN型



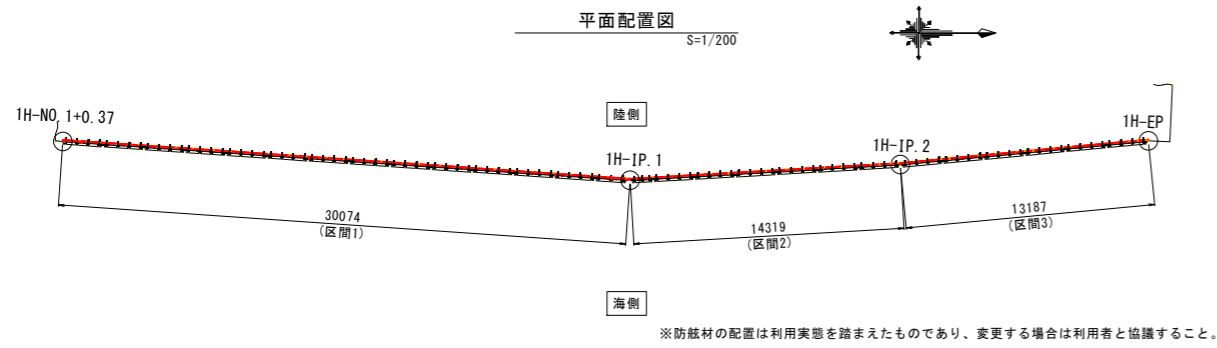
※係船環の形状は参考であり、これを指定するものではない。
※材質はSUS304とすること。
※耐荷重は30kN以上とすること。
※環の部分の設置要否は利用者と協議すること。

当初設計図面

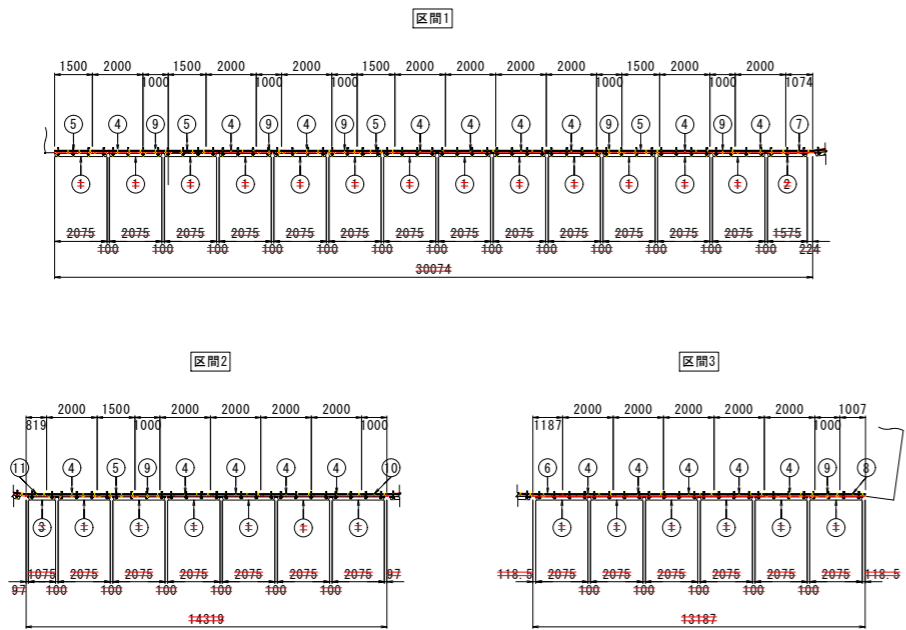
工事名	R 8 徳土 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	付帯工詳細図(1)		
縮尺	図示	図面番号	19/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

付帯工詳細図(2)

防眩材・コーナー保護材



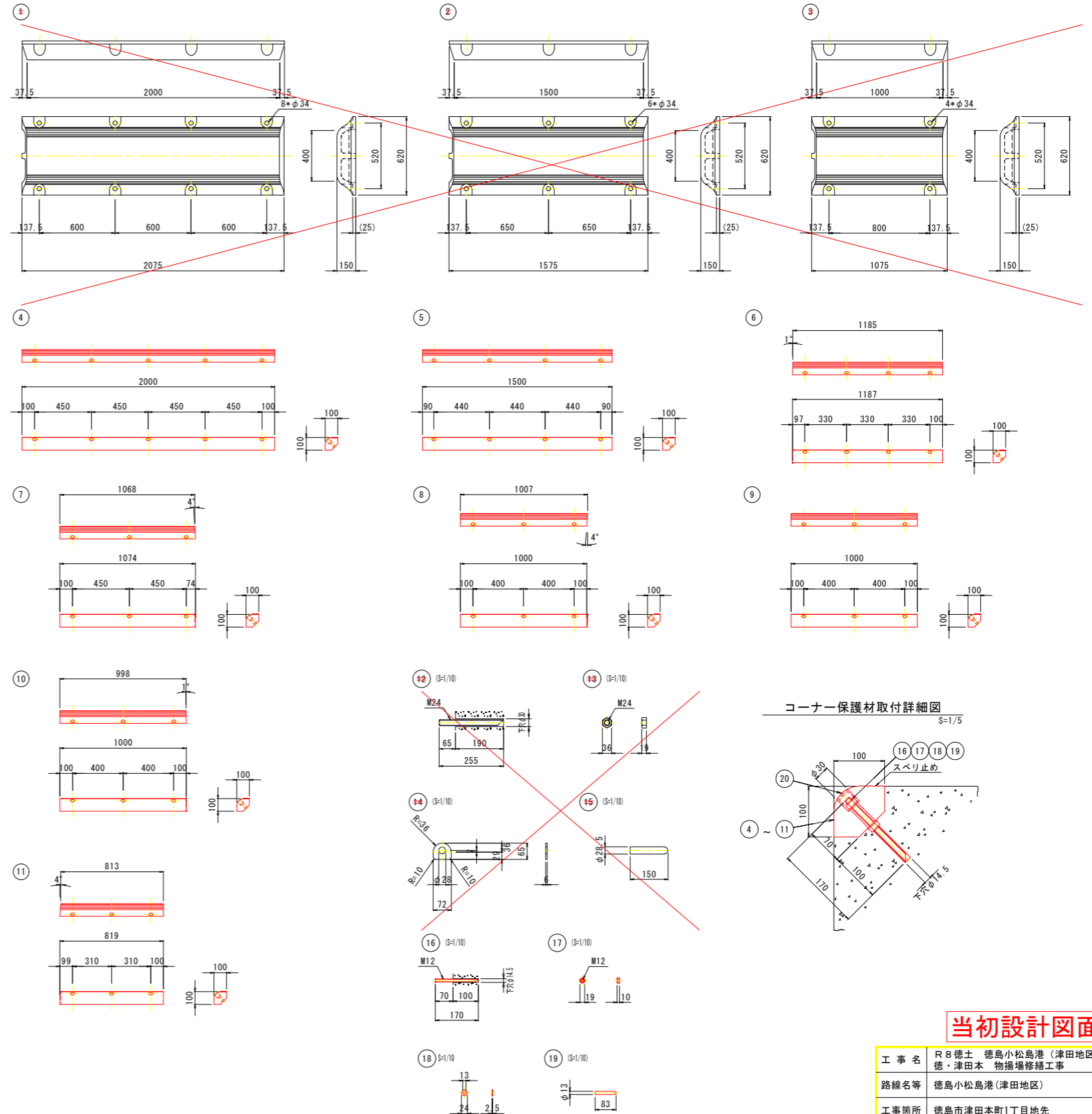
防眩材・コーナー材配置図
S=1/150



番号	名称	材質	数量	1式当り	備考
1	漁港用ゴム防眩材150H*2000L	ゴム	13	6	59
2	漁港用ゴム防眩材150H*1500L	ゴム	1	1	1
3	漁港用ゴム防眩材150H*1000L	ゴム	1	1	1
4	コーナー保護材 2000L	合成樹脂	9	5	19
5	コーナー保護材 1500L	合成樹脂	4	1	5
6	コーナー保護材 1187L	合成樹脂	-	1	1
7	コーナー保護材 1074L	合成樹脂	1	-	1
8	コーナー保護材 1007L	合成樹脂	-	1	1
9	コーナー保護材 1000L	合成樹脂	5	1	7
10	コーナー保護材 1000L	合成樹脂	-	1	1
11	コーナー保護材 819L	合成樹脂	-	1	1
12	M24アンカーボルト	SUS304	11	52	46
13	M24ナット	SUS304	11	52	46
14	M24用ワッシャー	SUS304	11	52	46
15	M24用樹脂カプセル	樹脂・木材	11	52	46
16	M12 アンカーボルト	SUS304	79	38	35
17	M12 ナット	SUS304	158	76	70
18	M12用ワッシャー	SUS304	158	76	70
19	M12用樹脂カプセル	樹脂・木材	79	38	35
20	キャップ	合成樹脂	79	38	35

防眩材・コーナー保護材構造図(参考図)
S=1:20

※防眩材およびコーナー保護材の形状は参考であり、これを指定するものではない。
※防眩材は1m当りの吸収エネルギーが性能交差-10%を考慮してE=5.40kN・m以上を満足する製品を選定すること。

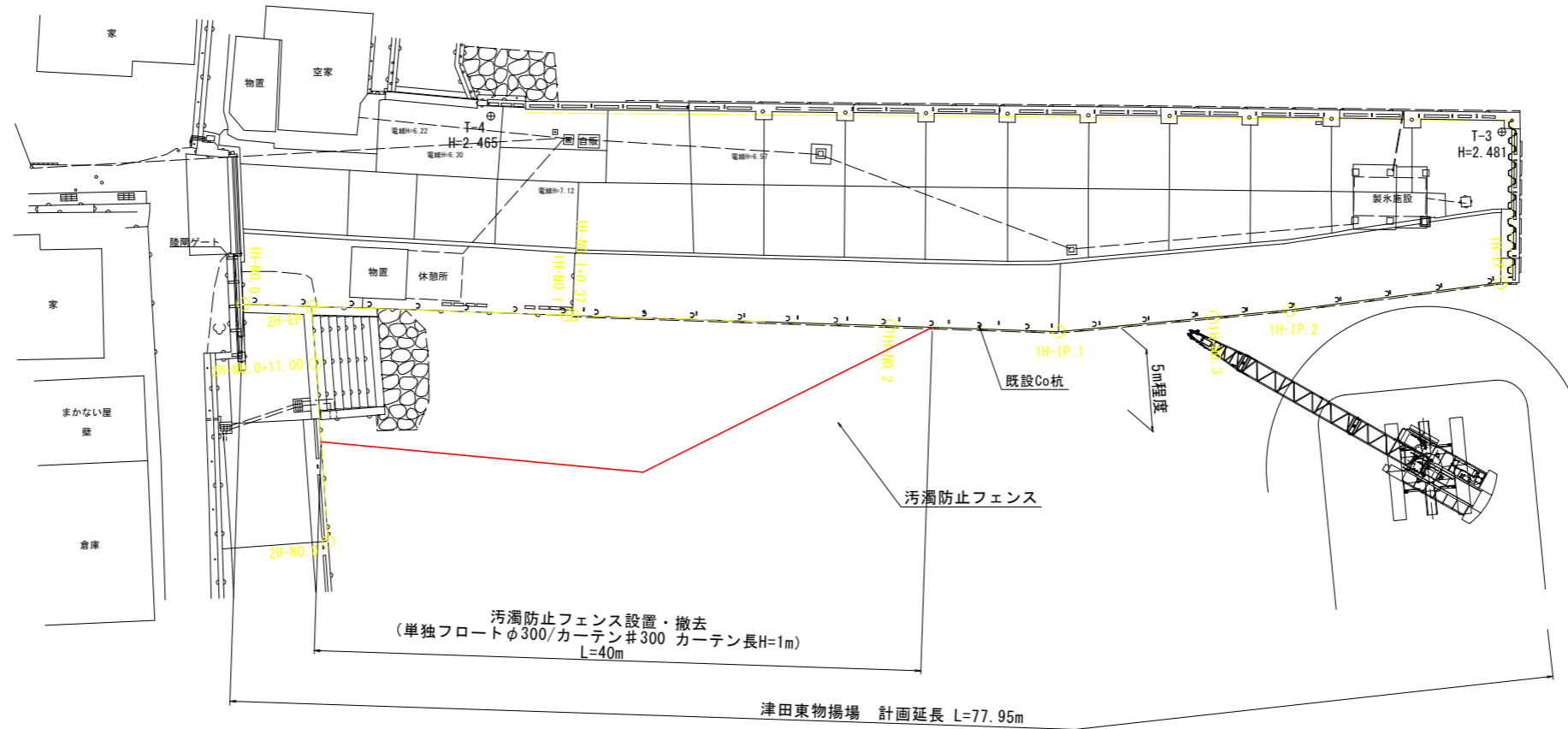
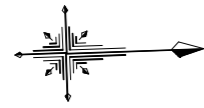


当初設計図面

工事名	R 8 徳土 徳島小松島港(津田地区)
路線名等	徳島小松島港(津田地区)
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先
図面名	付帯工詳細図(2)
縮尺	図示 図面番号 20/21
会社名	
事業者名	徳島県土整備事務所

汚濁防止フェンス計画図

平面図 S=1:200



当初設計図面

工事名	R8徳土 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事		
路線名等	徳島小松島港(津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	汚濁防止フェンス計画図		
縮尺	図示	図面番号	21/21
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

※ 汚濁防止フェンスのカーテン長は、汚濁防止膜の技術基準より干潮時水深の1/2~4/5程度とする。
 ∴LWL時水深1.5×1/2~4/5より中央値のL=0.98m→1.0mにて計画する。